

青少年委員会 調査研究報告会

「中高生の生活とテレビ」 に関する調査

報告者

萩原

滋

はぎわら しげる

青少年委員会委員・立教女学院短期大学 特任教授

1948年生まれ。慶応義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了(文学博士)。千葉大学文学部助教授、慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授を経て現職。著書に『変容するメディアとニュース報道』『テレビと外国イメージ』『テレビニュースの世界像』など。

調査チームメンバー

委員長 汐見 稔幸 白梅学園大学学長

副委員長 加藤 理 文教大学教授

2015年3月16日

中高生の生活とテレビ に関する調査

放送倫理・番組向上機構(BPO)
青少年委員会委員
萩原 滋

調査目的: 多メディア環境下での中高生の生活の中で
テレビが果たしている役割を問い直す

調査対象(私立中高一貫校 3校)

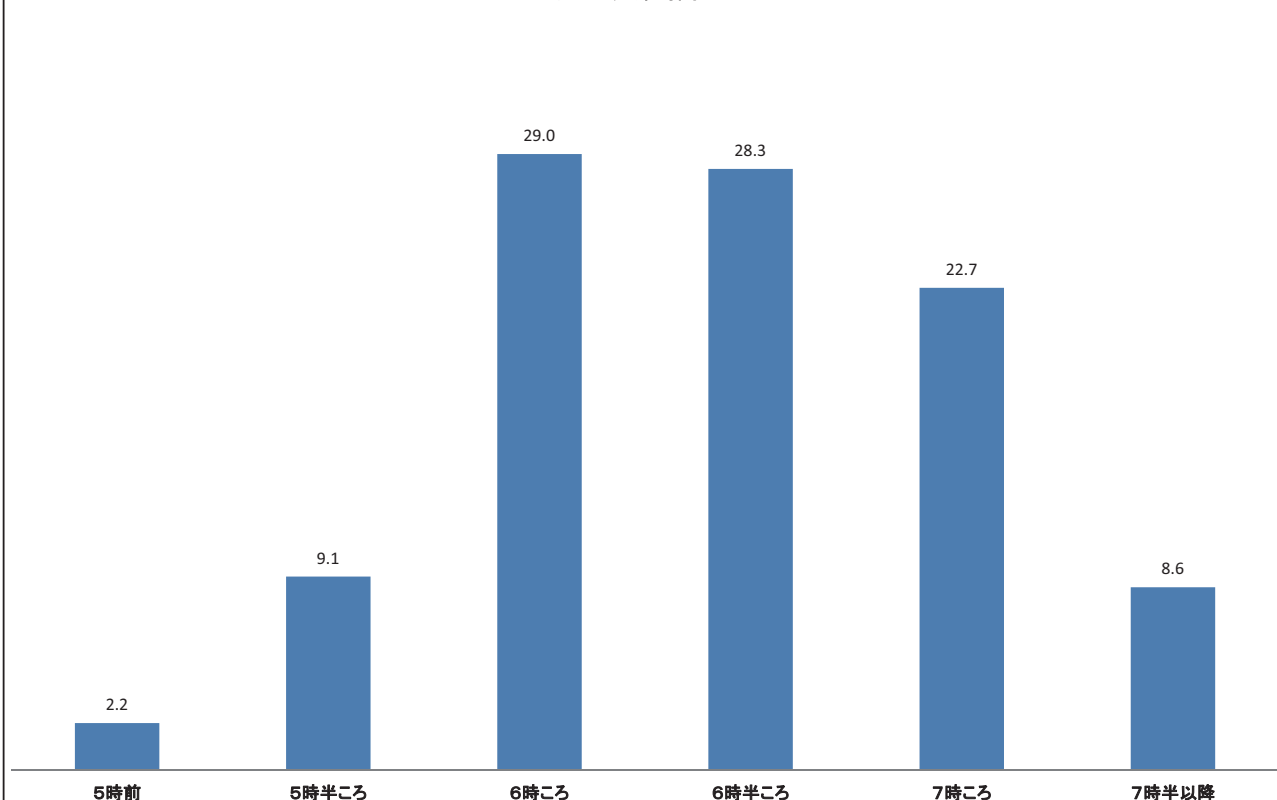
	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
A(関東)	119	141	127	170	204	217	978
B(関西)	152	116	146	299	288	260	1,261
C(中四国)	124	126	107	137	131	129	754
計	395	383	380	606	623	606	2,993

男子 1,457(49%)、女子 1,523(51%)
中学生 1,158(39%)、高校生 1,835(61%)

質問項目の構成

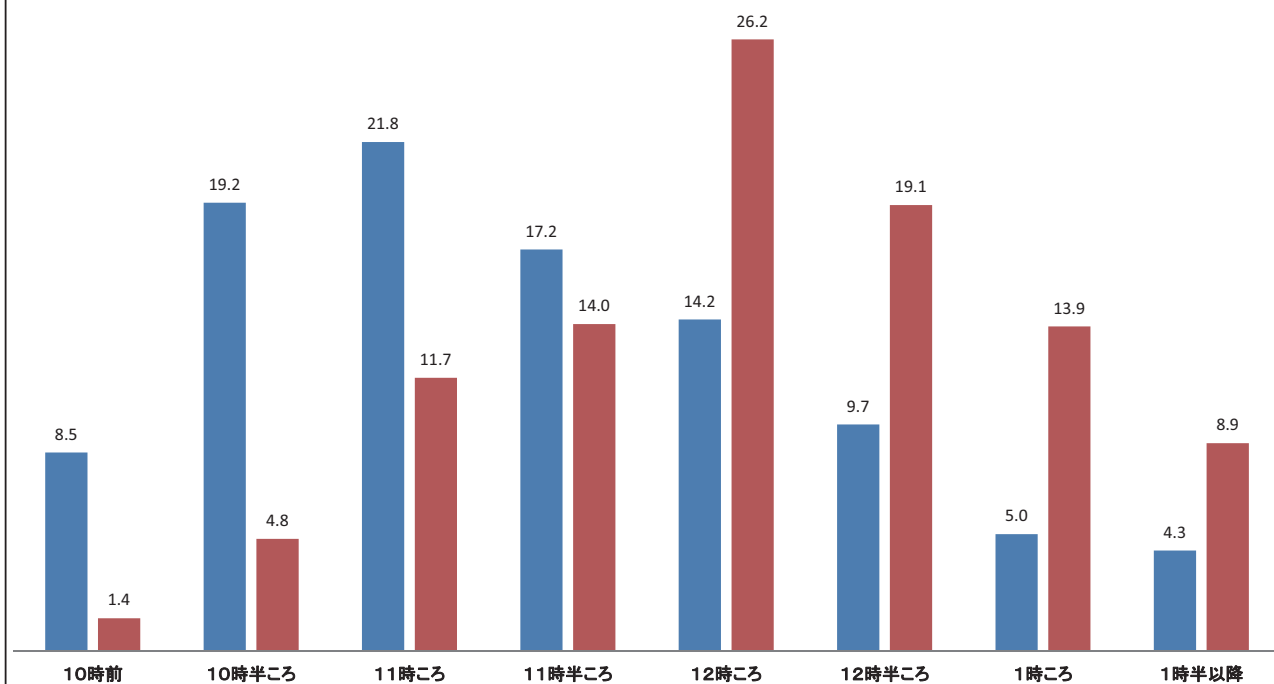
- 家や学校での生活状況
- 友だちとの会話内容
- テレビの視聴状況(視聴頻度、視聴時間、視聴様式、視聴規制の有無、視聴する番組ジャンル、番組名など)
- テレビ以外のメディアの利用状況(所有する情報・通信機器、新聞、マンガ・コミック誌、それ以外の雑誌、小説やラノベ、ラジオ、ゲームの利用頻度、ケータイやスマホの利用時間と利用法、パソコンの利用頻度と利用法)
- テレビの効用や影響に関する認識
- 回答者の個人属性

平日の起床時間

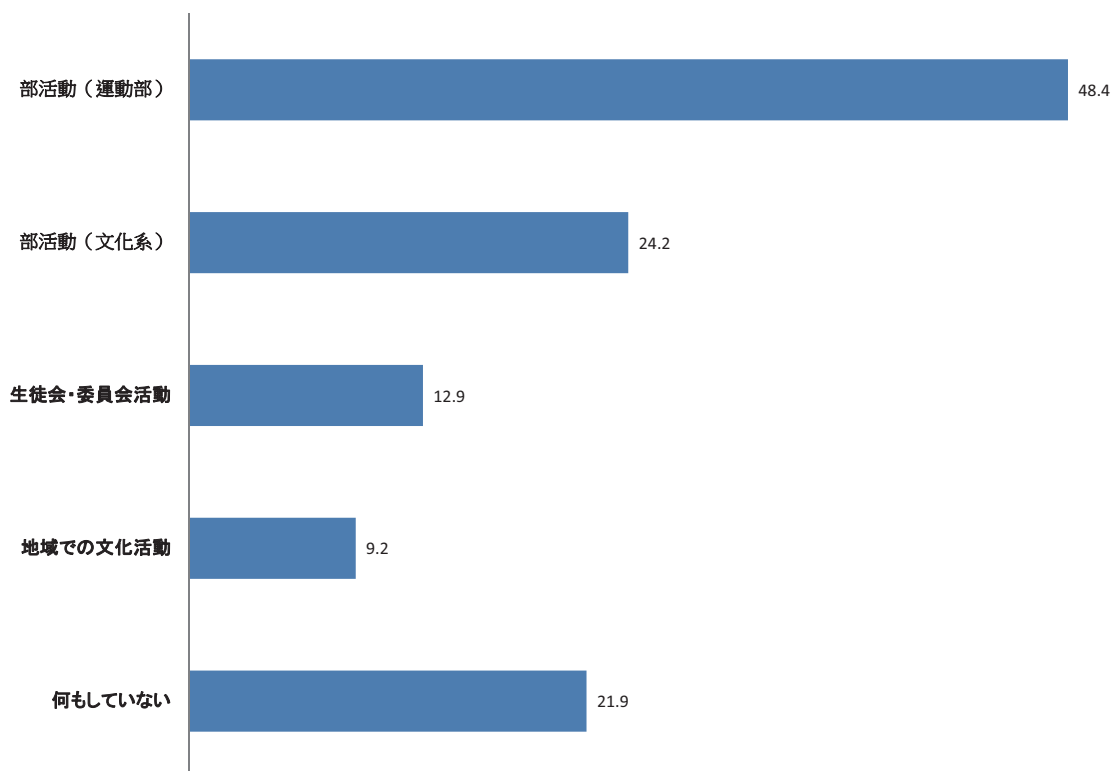


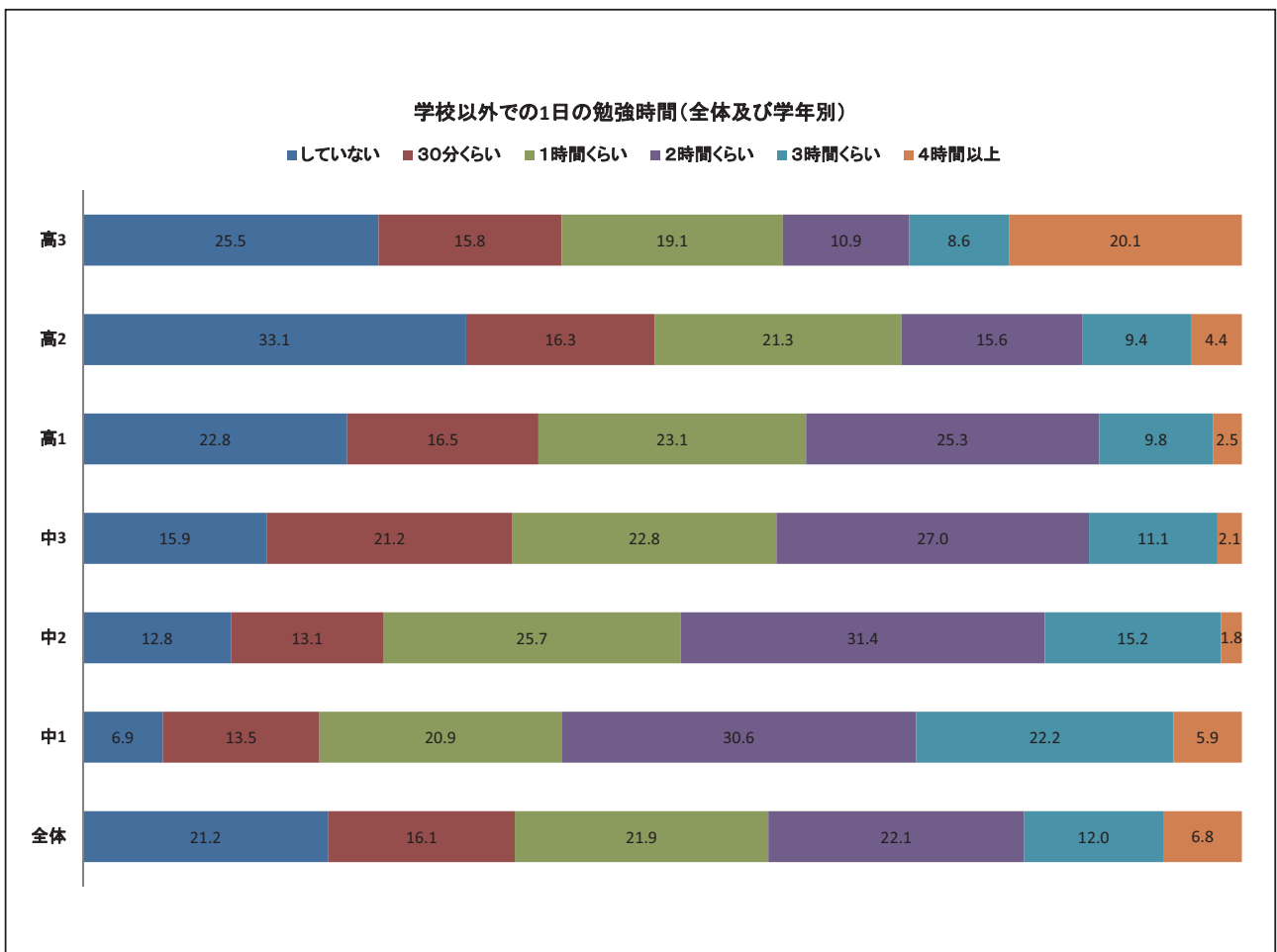
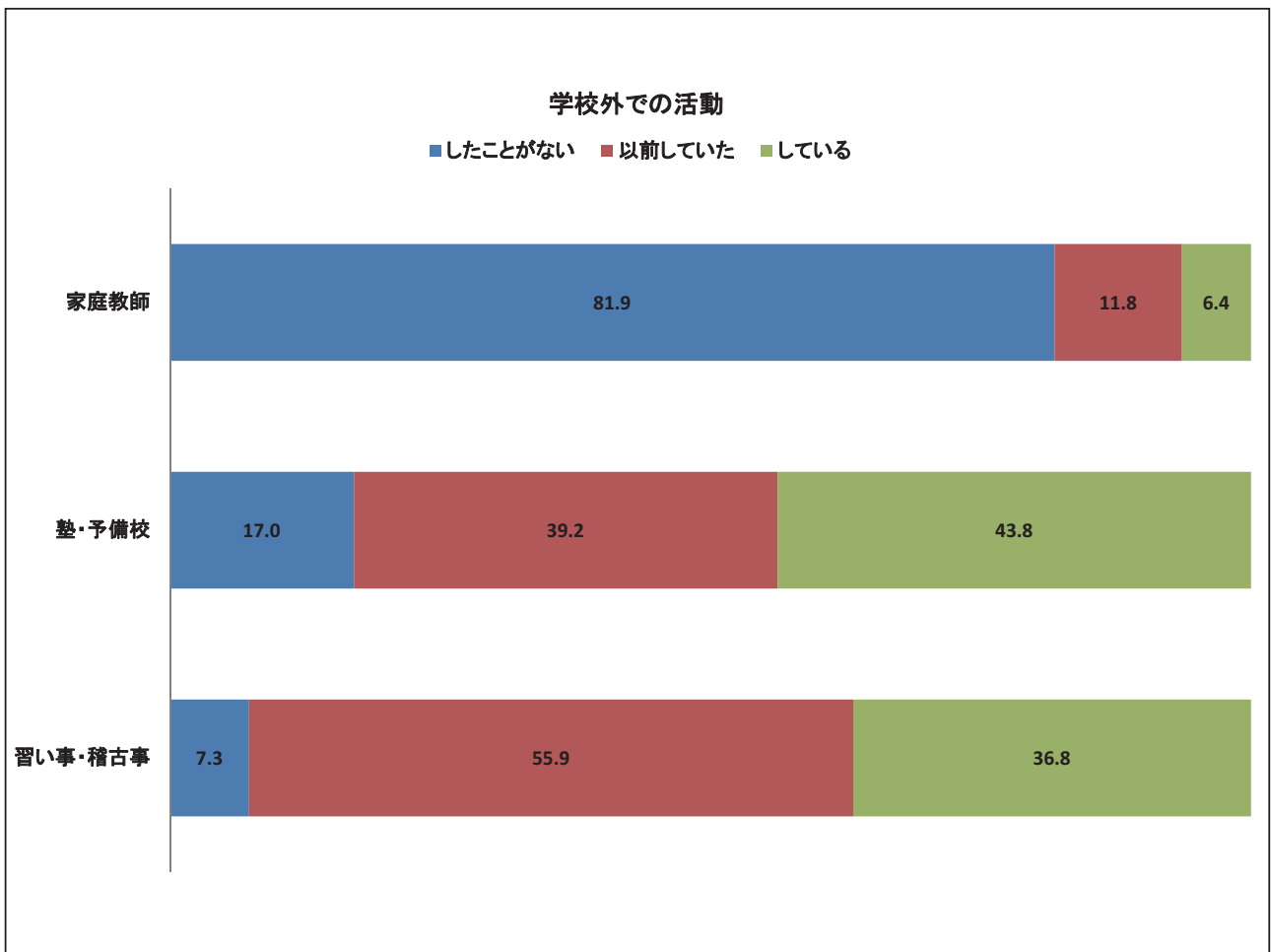
平日の就寝時間(中学生と高校生)

■中学生 ■高校生

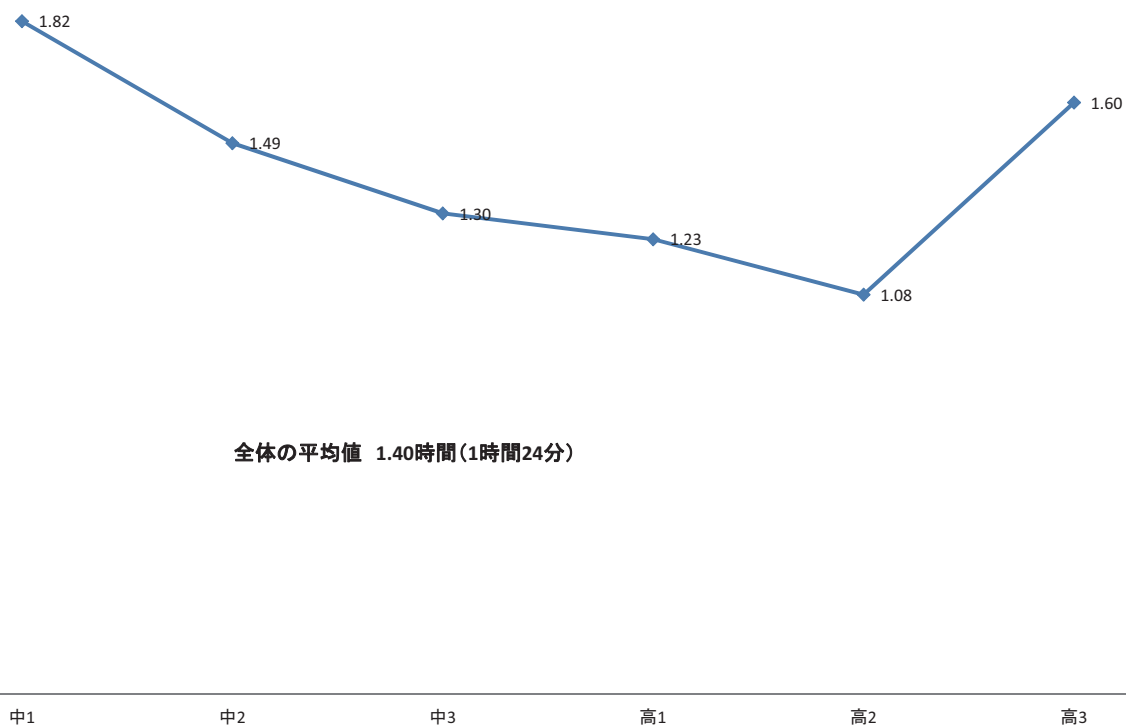


学校や地域での活動への参加率





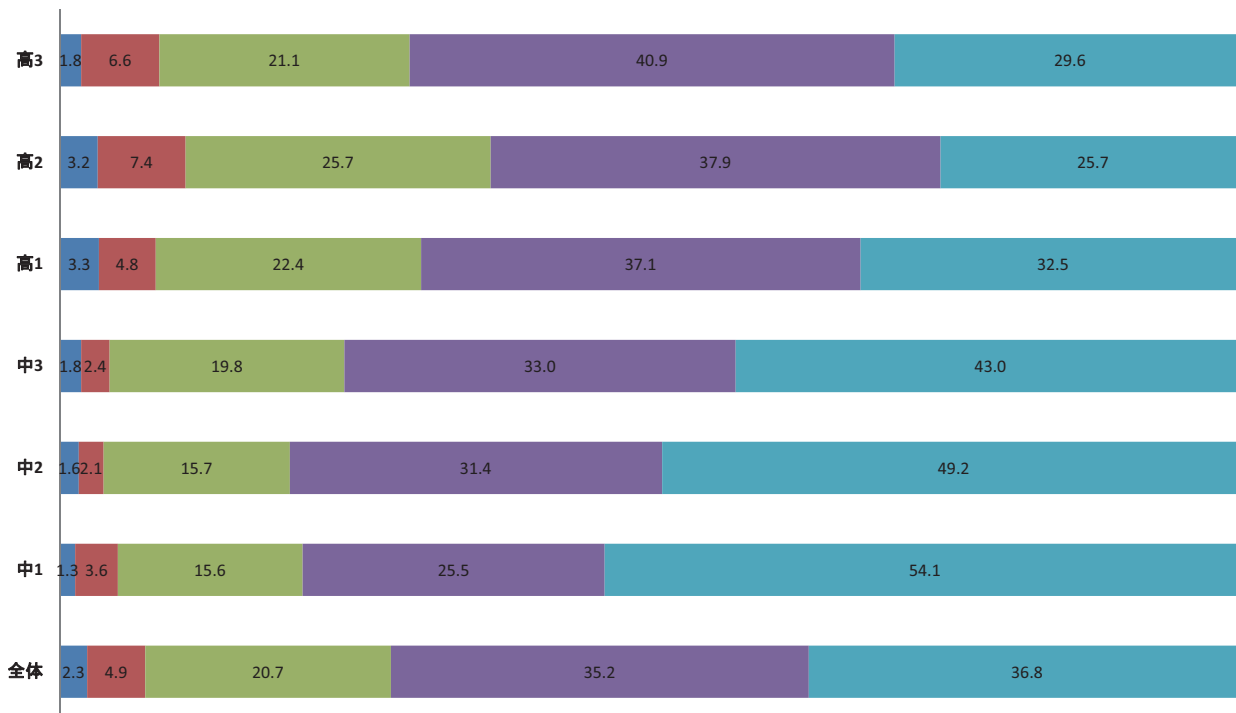
学校以外での勉強時間(学年別平均値)



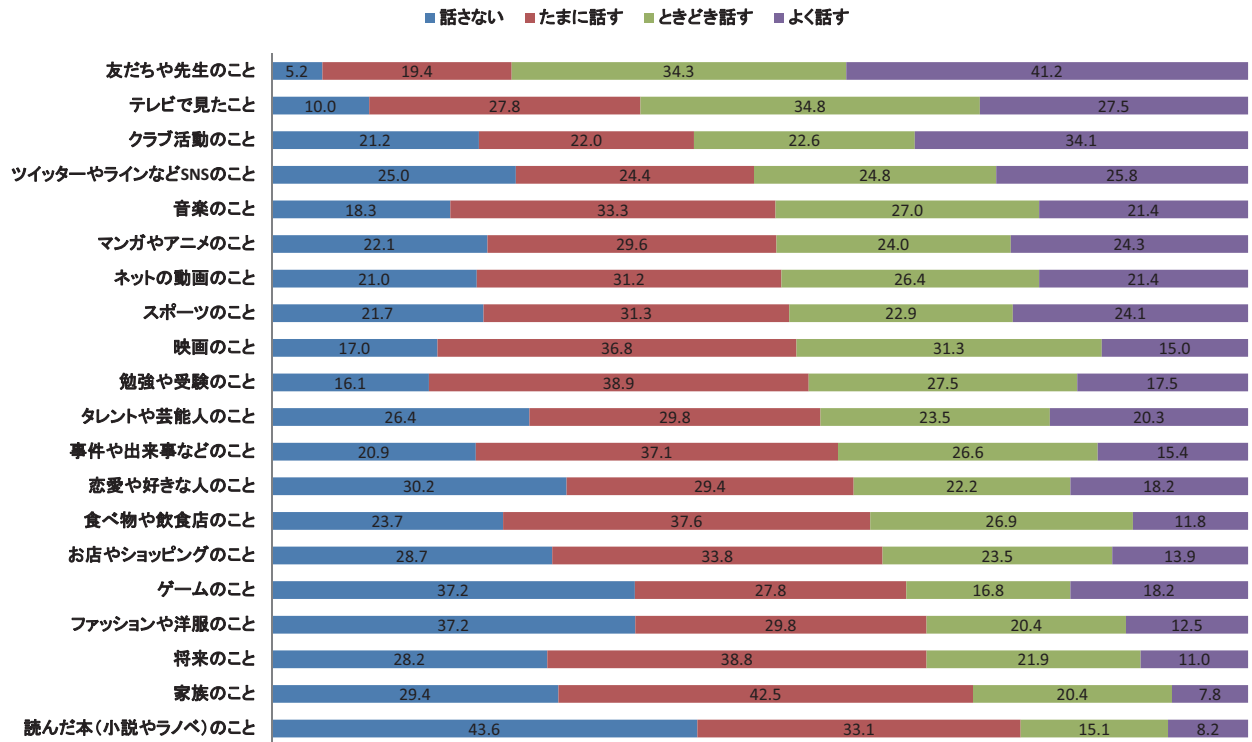
全体の平均値 1.40時間(1時間24分)

学校生活を楽しんでいるか(全体及び学年別)

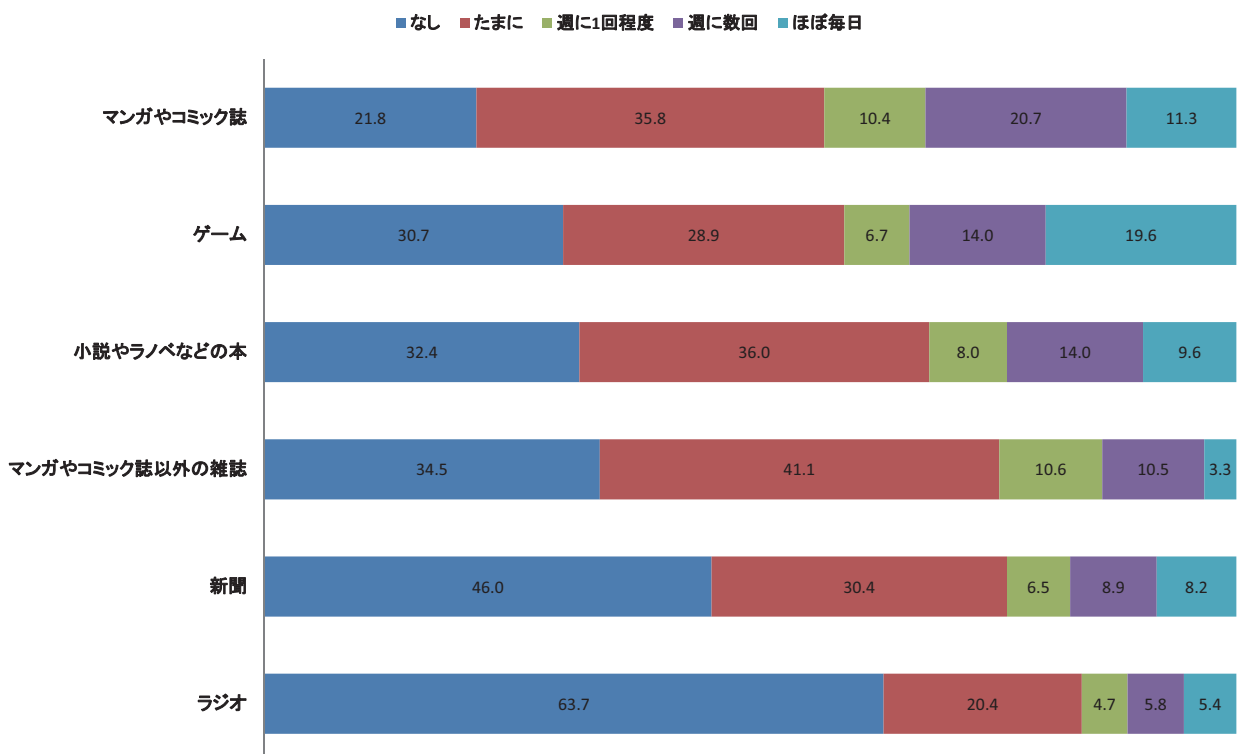
■ ぜんぜん楽しくない ■ あまり楽しくない ■ ふつう ■ まあ楽しい ■ とても楽しい



友だちと話すこと

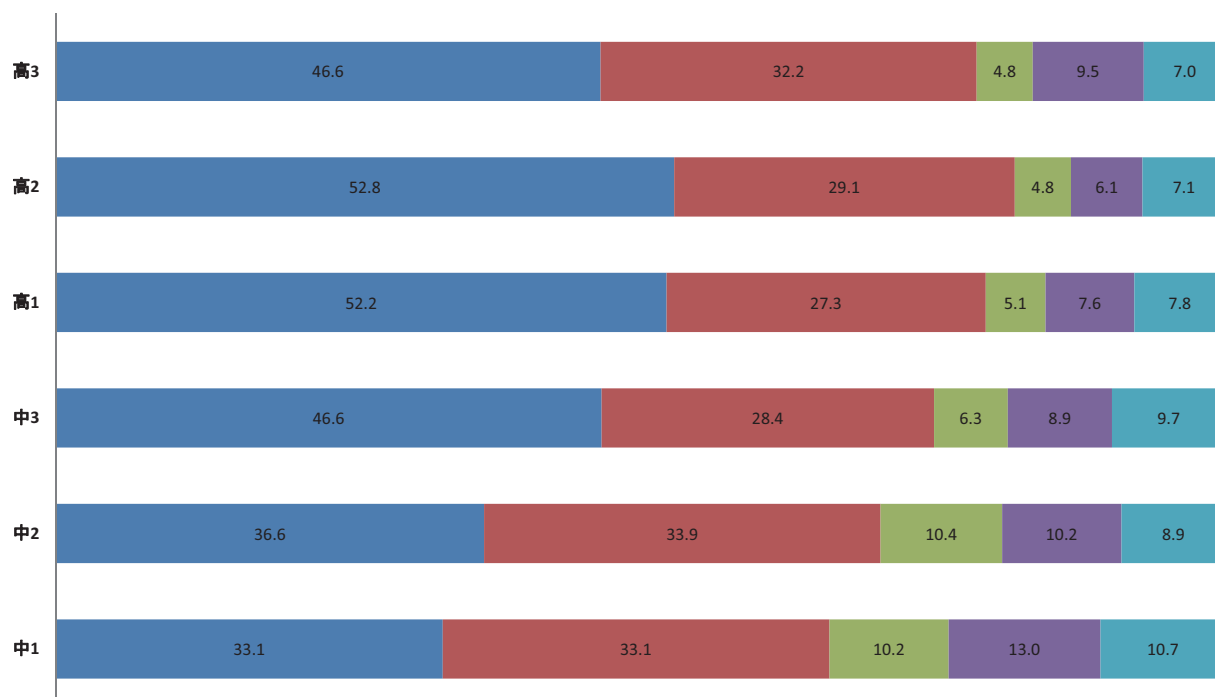


各種メディアの利用状況



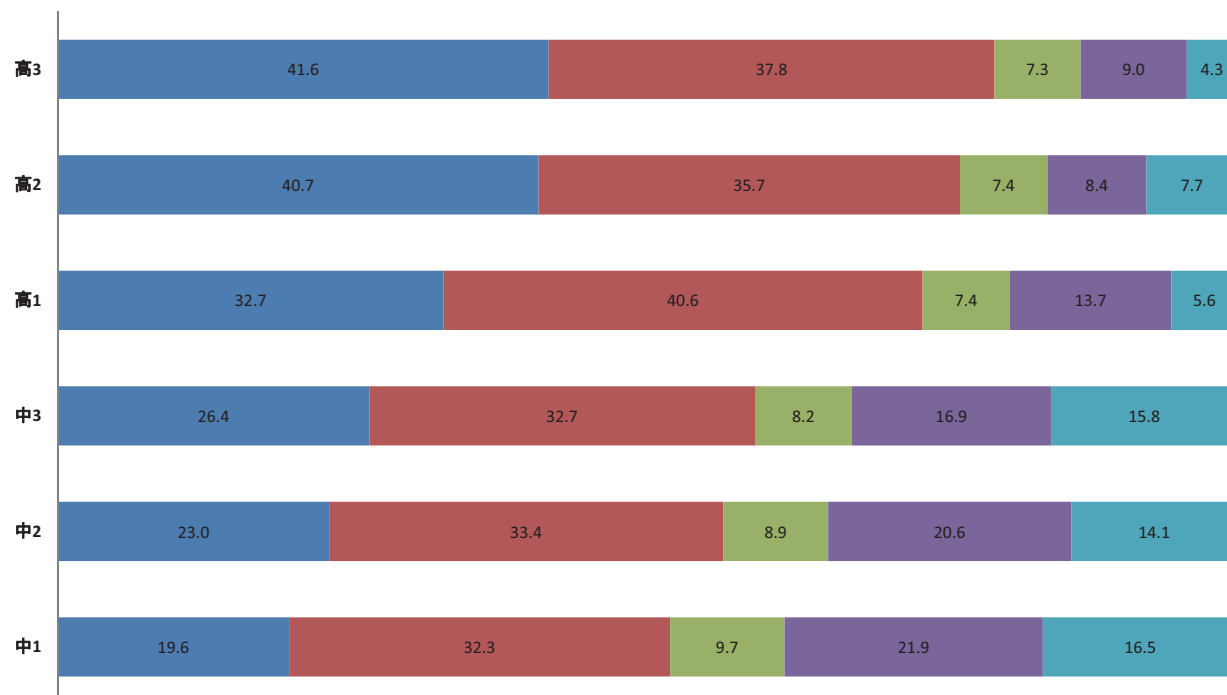
学年別新聞閲読頻度

■ 読んでいない ■ たまに読む ■ 週に1回程度 ■ 週に数回 ■ ほぼ毎日



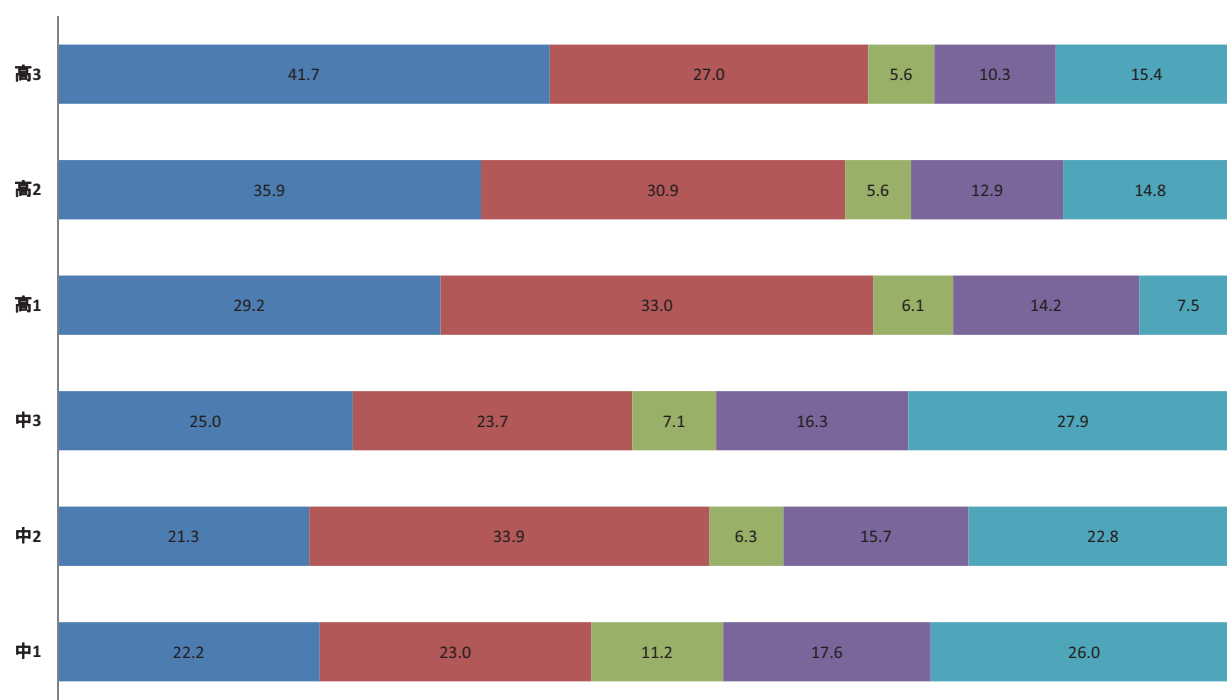
学年別小説・ラノベ閲読頻度

■ 読んでいない ■ たまに読む ■ 週に1回程度 ■ 週に数回 ■ ほぼ毎日



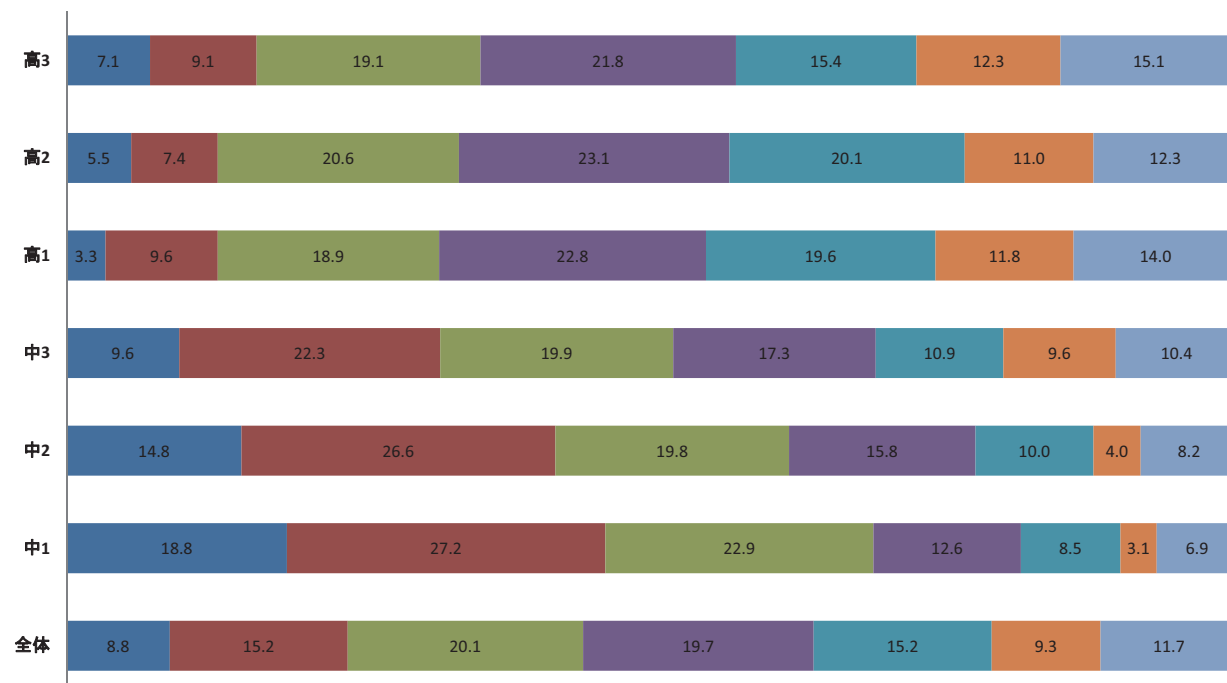
学年別ゲームプレイ頻度

■していない ■たまにする ■週に1回程度 ■週に数回 ■ほぼ毎日

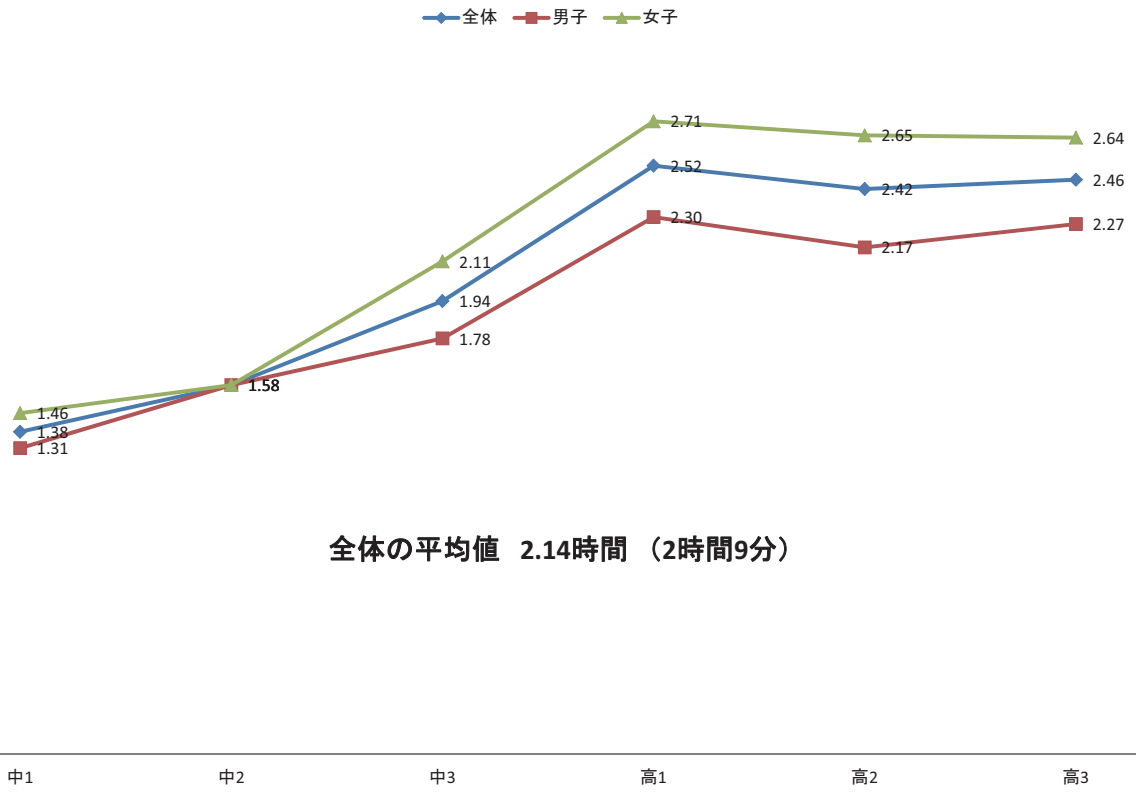


ケータイ・スマホの使用時間(全体及び学年別)

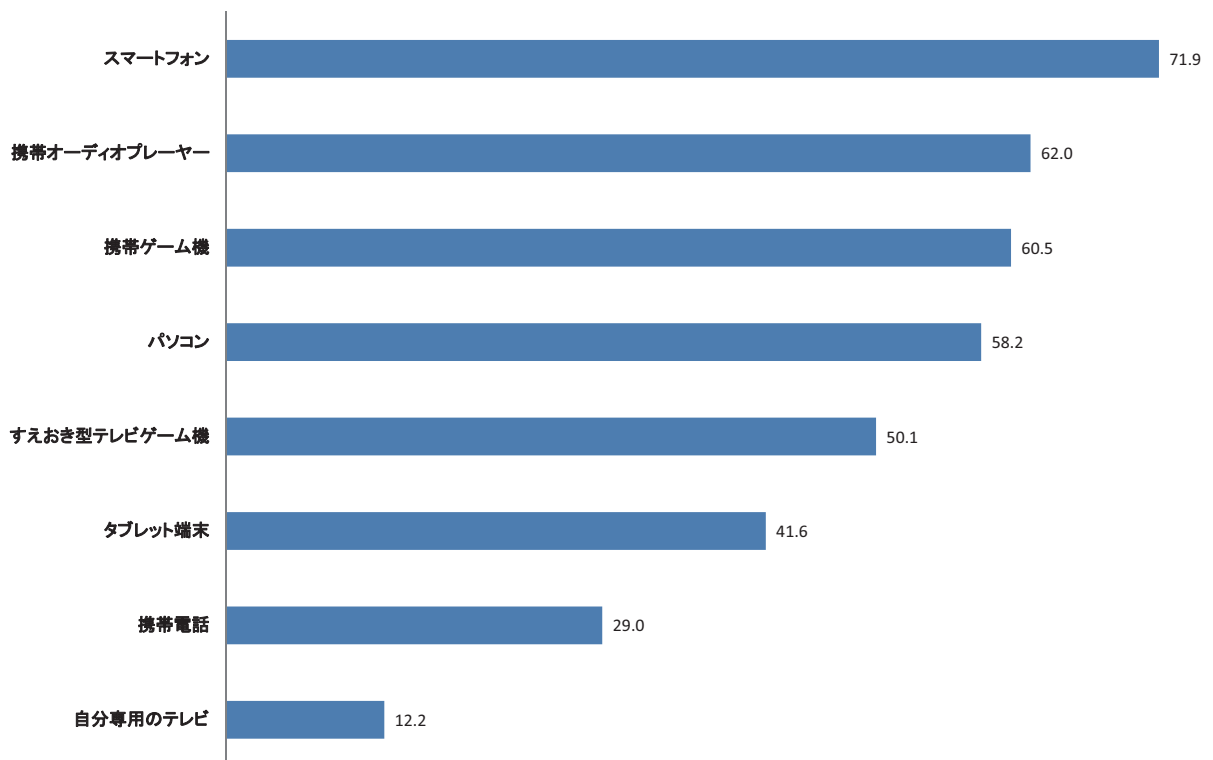
■使っていない ■30分程度 ■1時間程度 ■2時間程度 ■3時間程度 ■4時間程度 ■5時間以上



ケータイ・スマホの学年別の平均使用時間(全体及び男女別)

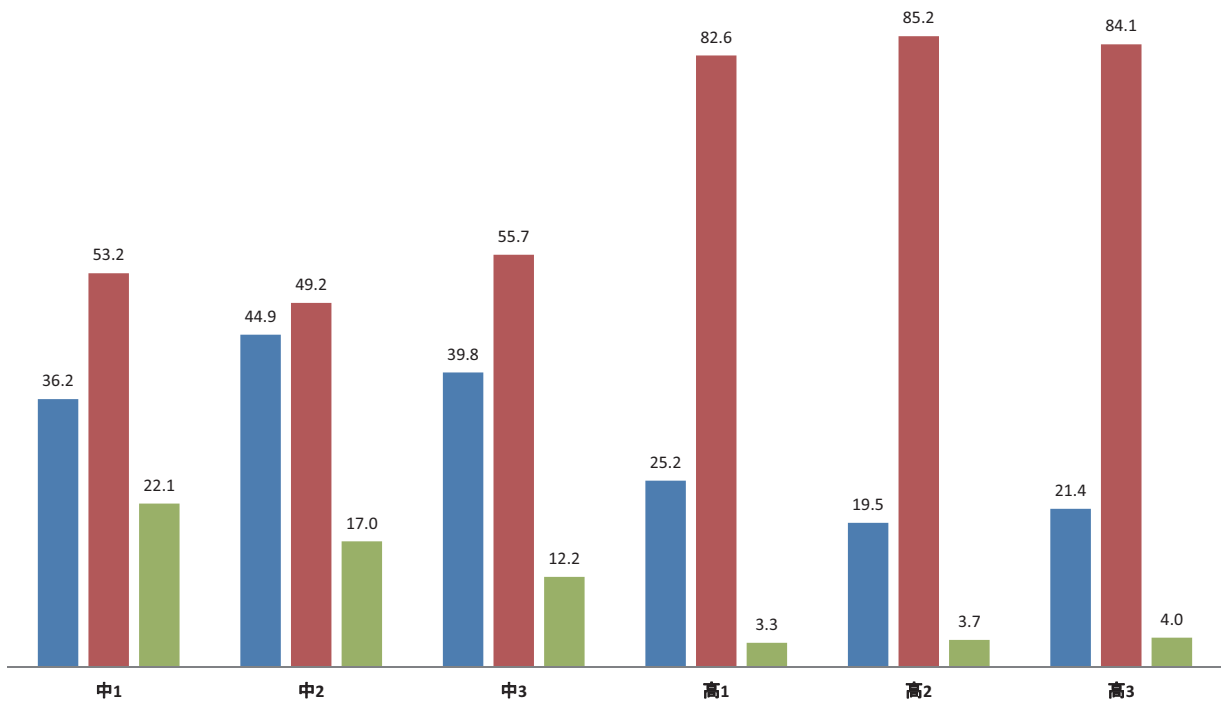


各種機器の所有(使用)率



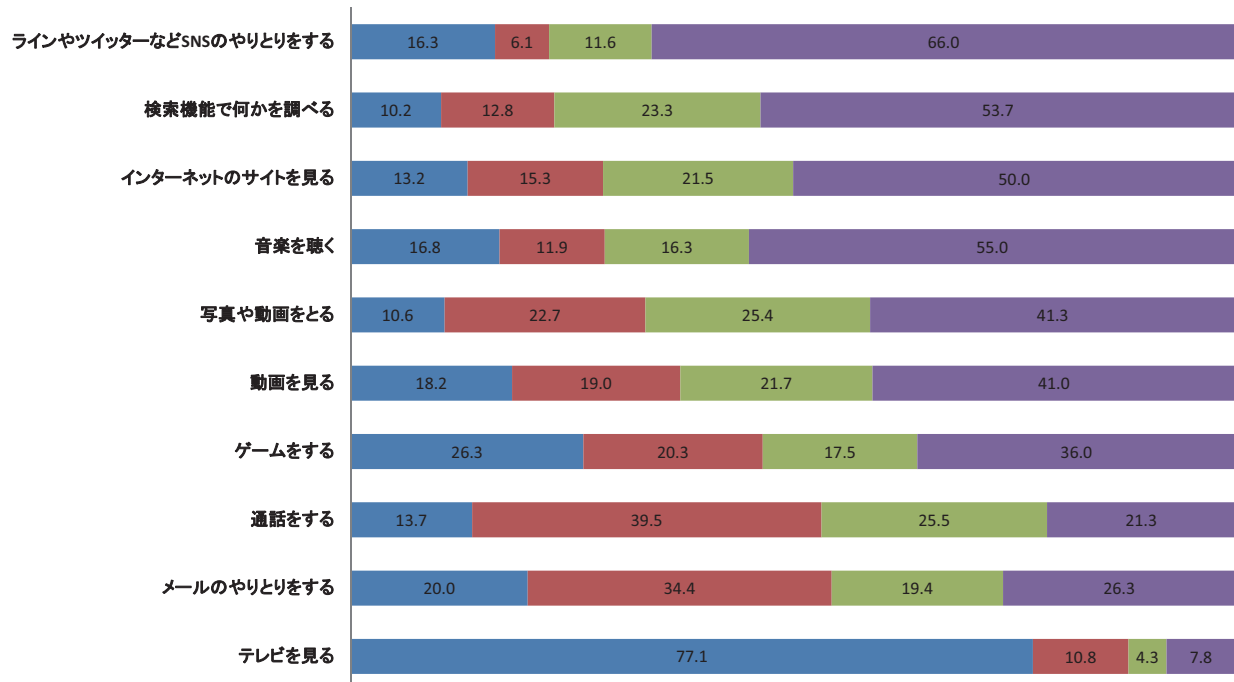
ケータイとスマホの所有率(学年別)

■携帯電話 ■スマートフォン ■両方なし

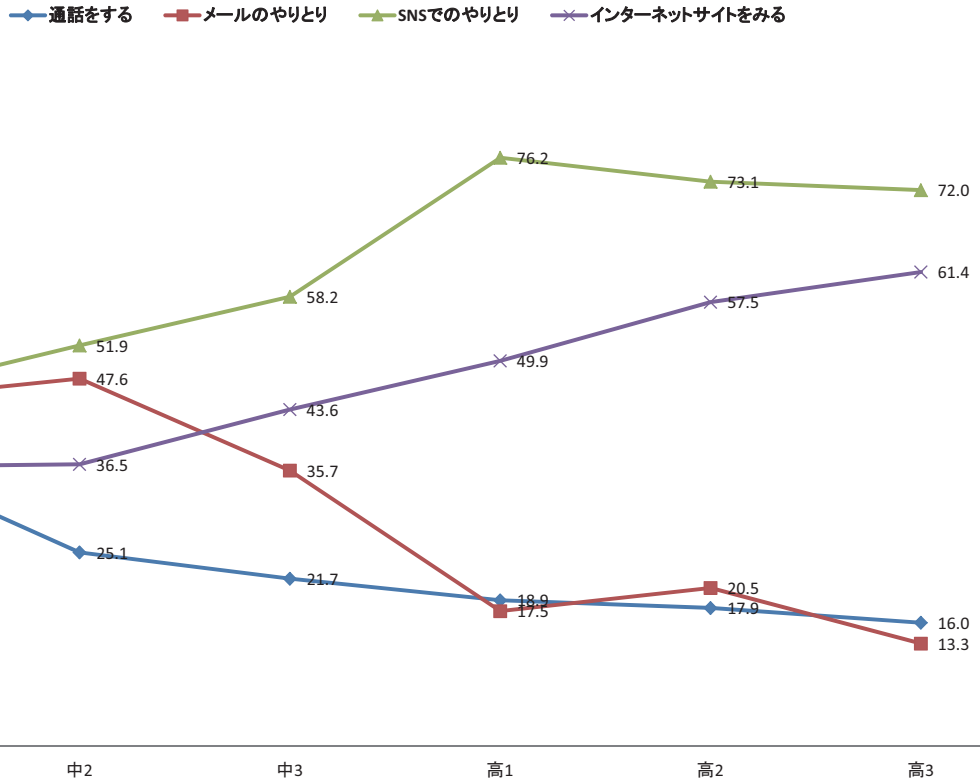


ケータイ・スマホの使い方

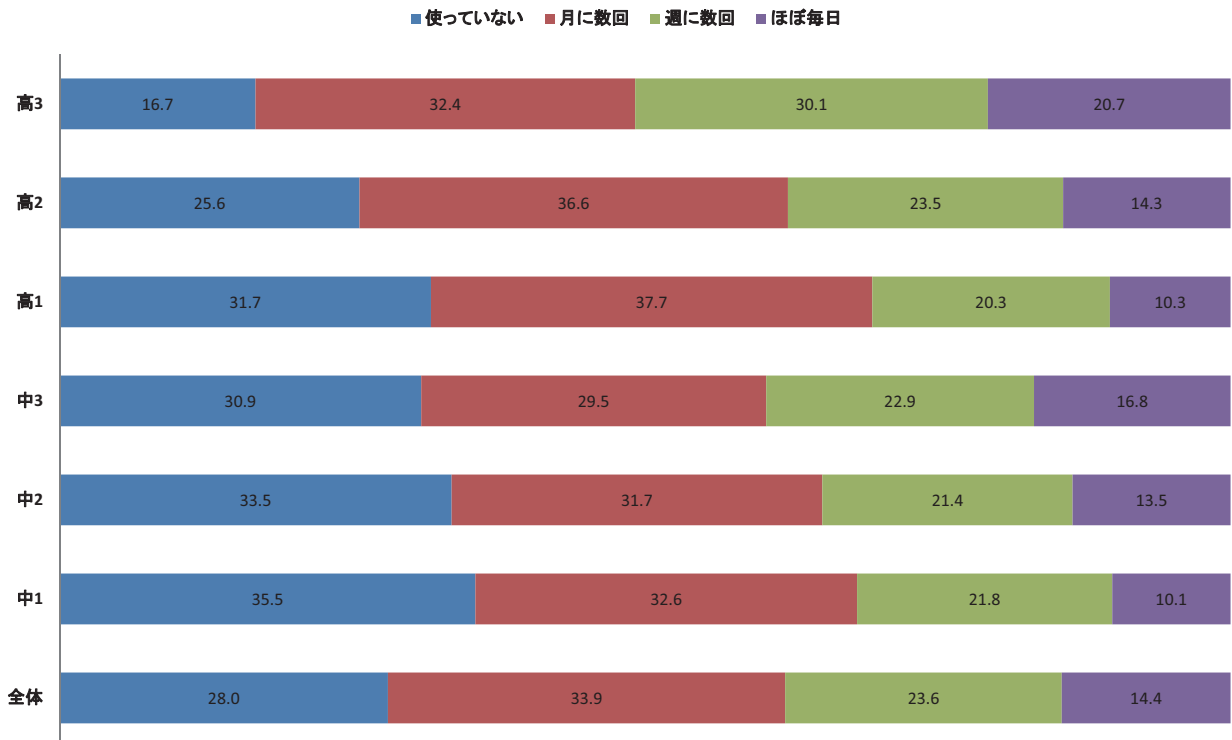
■しない ■たまにする ■ときどきする ■よくする



ケータイ・スマホの使い方(「よくする」割合、学年別)

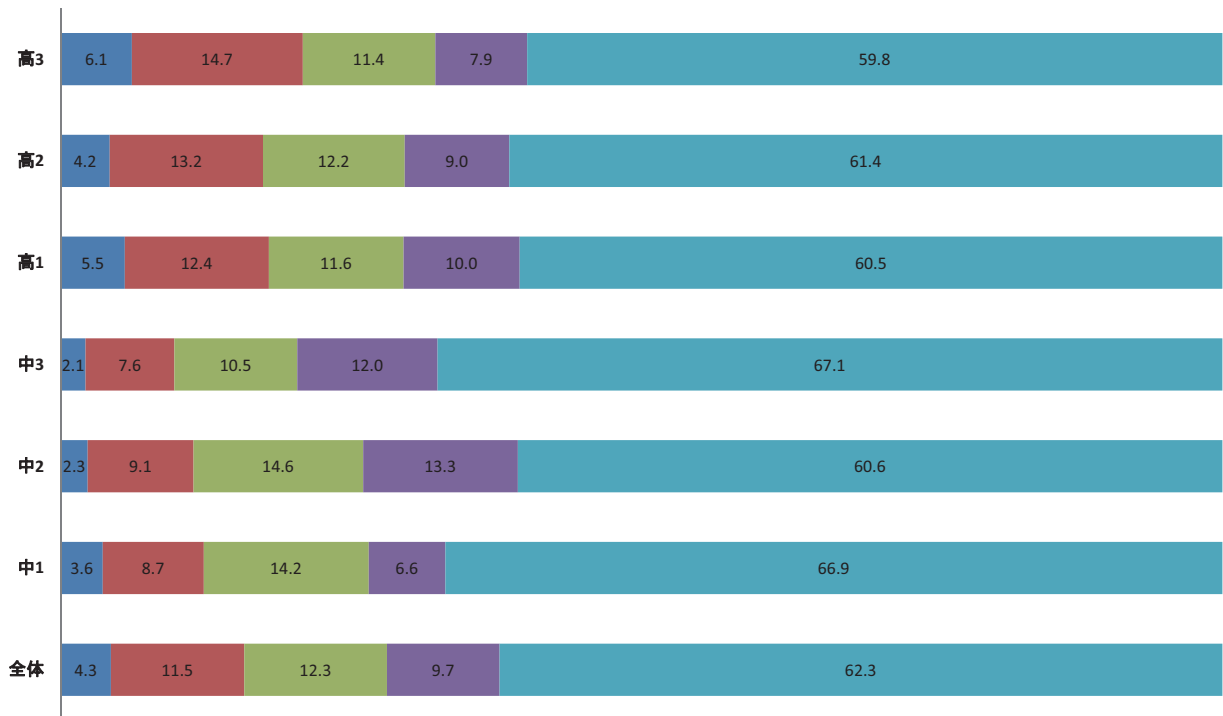


パソコンの使用頻度(全体及び学年別)



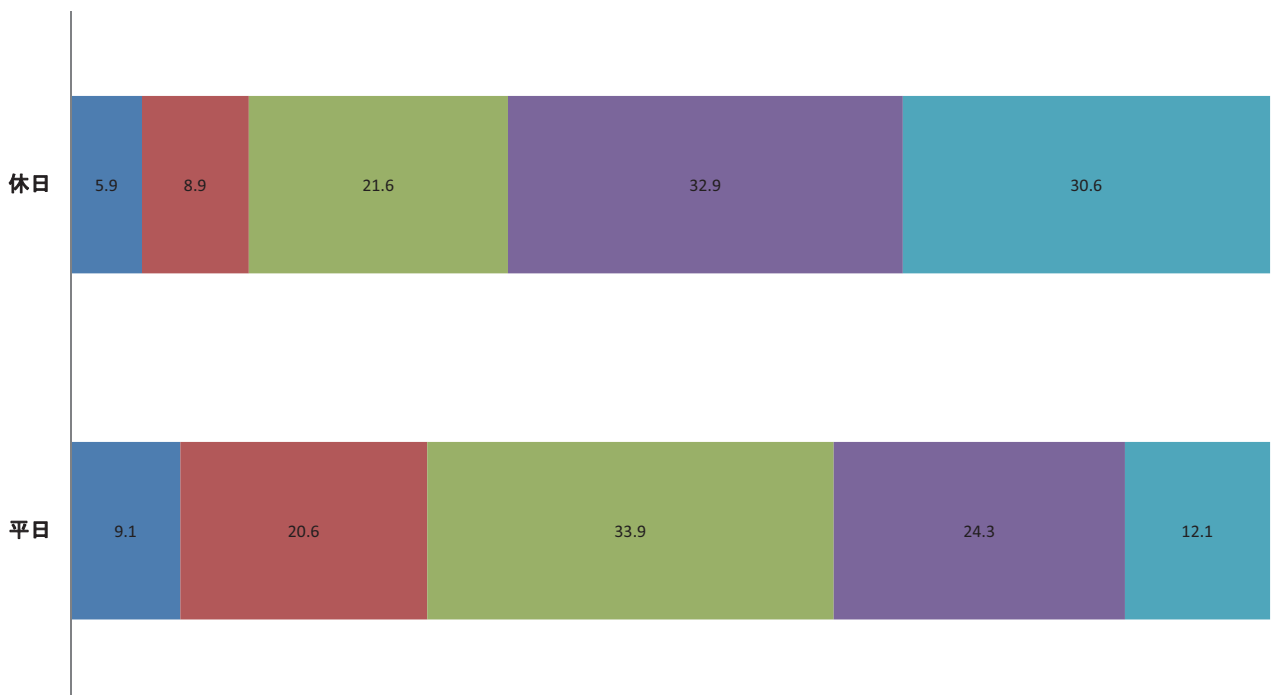
テレビ視聴頻度(全体及び学年別)

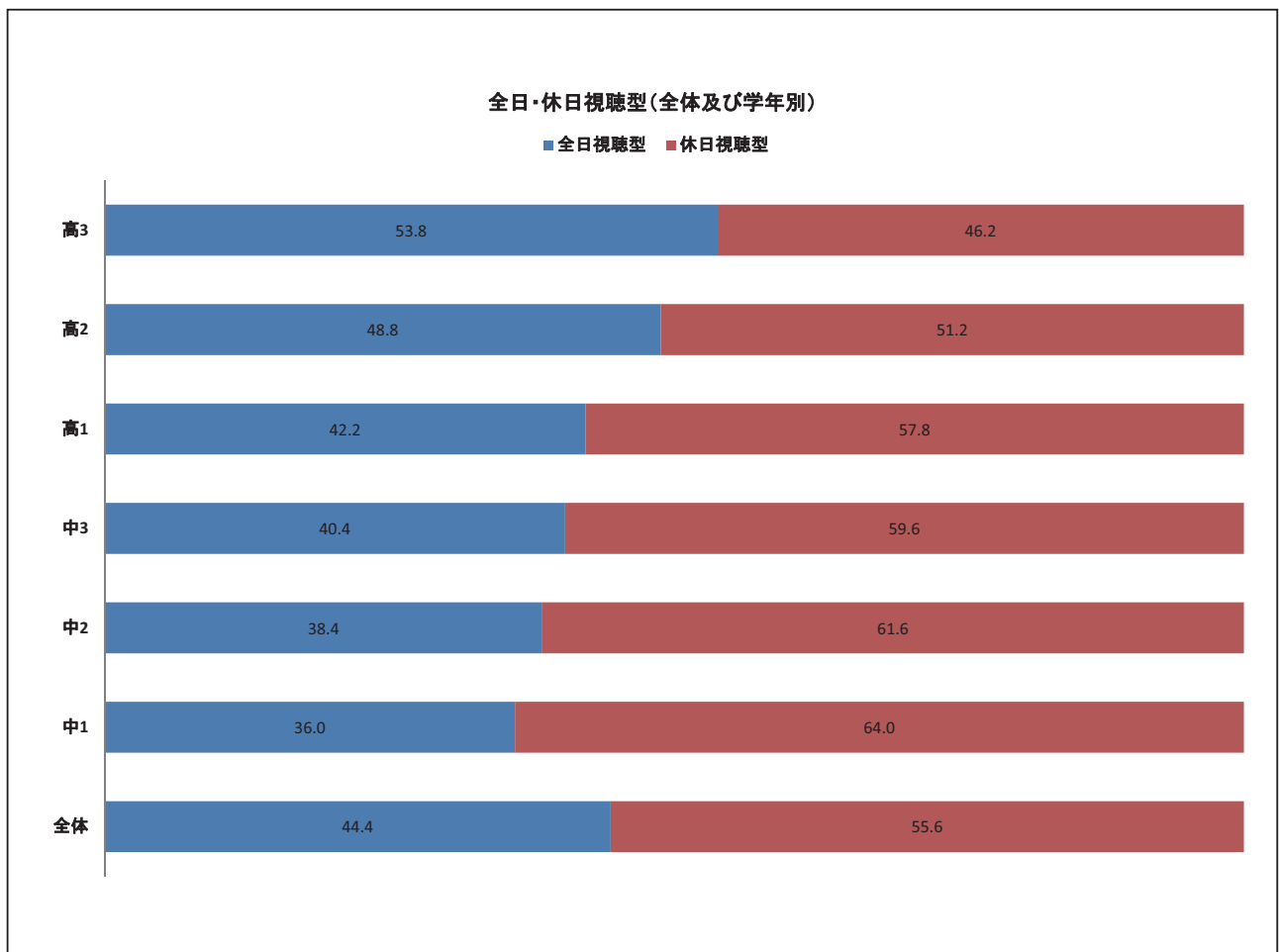
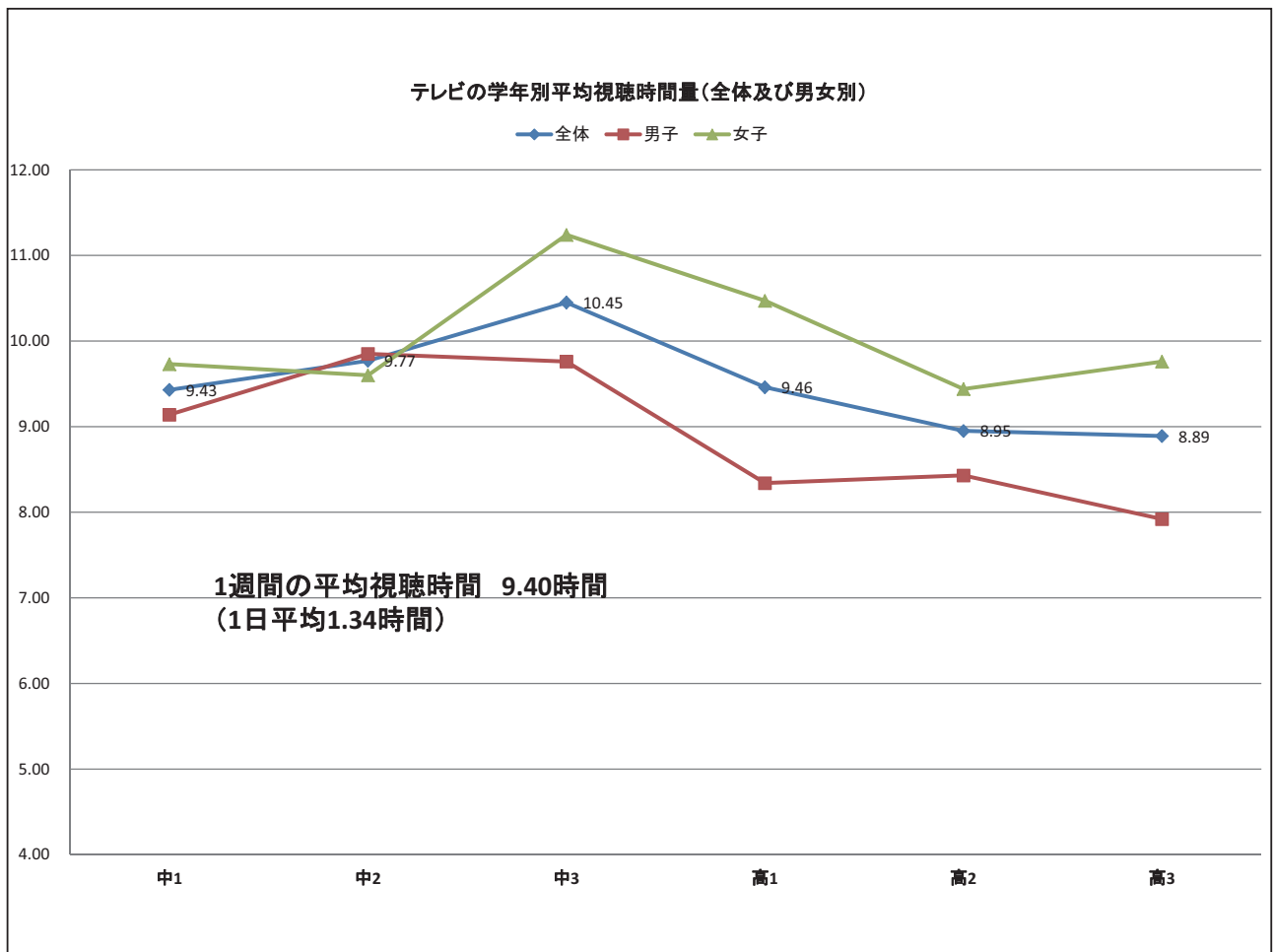
■見ない ■1日か2日 ■3日か4日 ■5日か6日 ■毎日



平日と休日のテレビ視聴時間

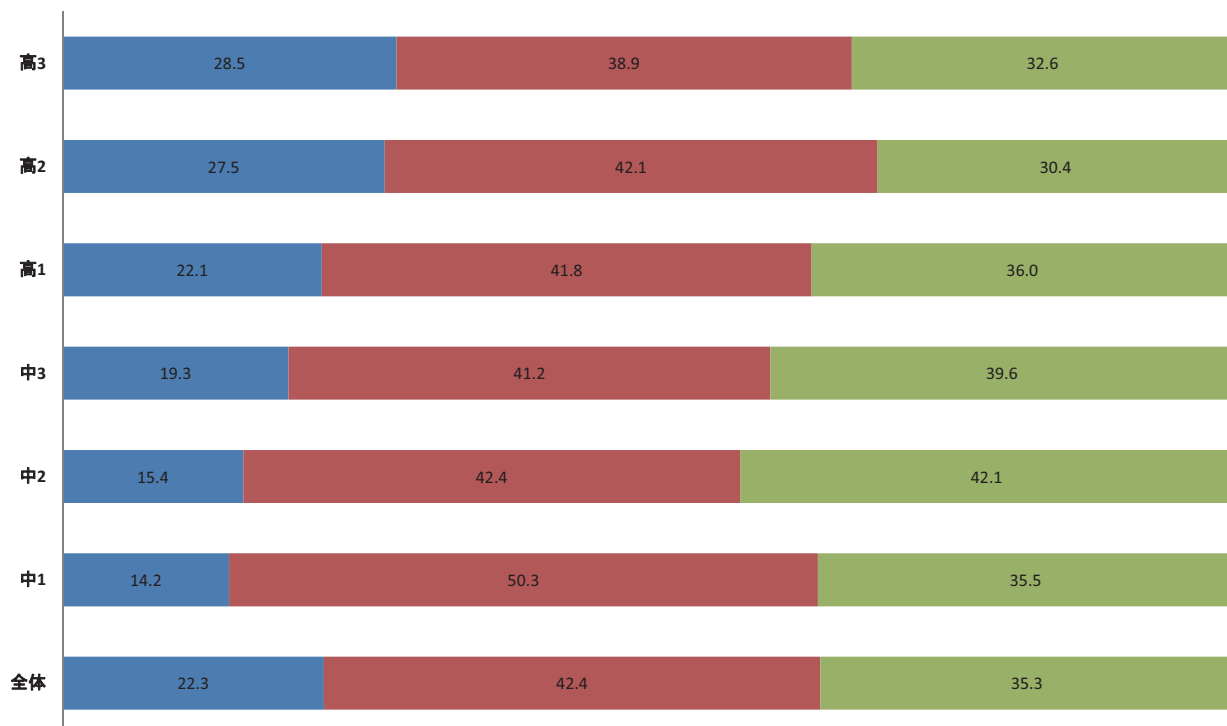
■見ない ■30分程度 ■1時間程度 ■2時間程度 ■3時間以上





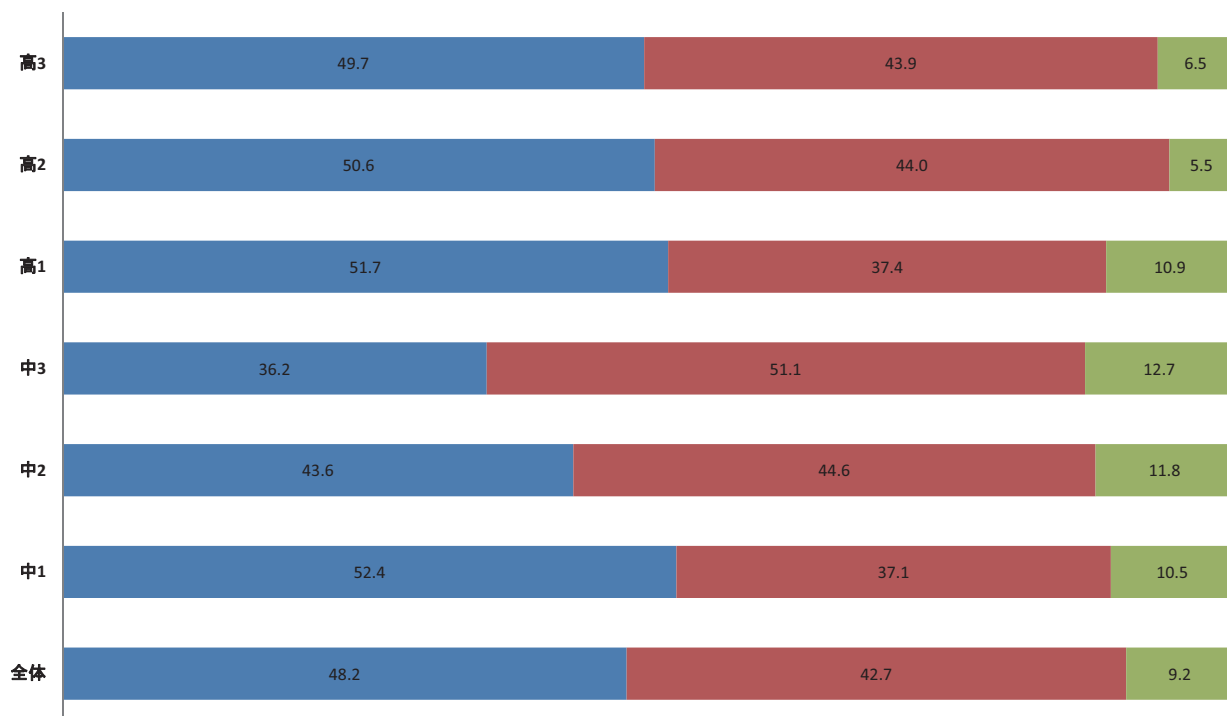
テレビ視聴量の自己認識(全体及び学年別)

■あまり見ない方 ■ふつう ■よく見る方



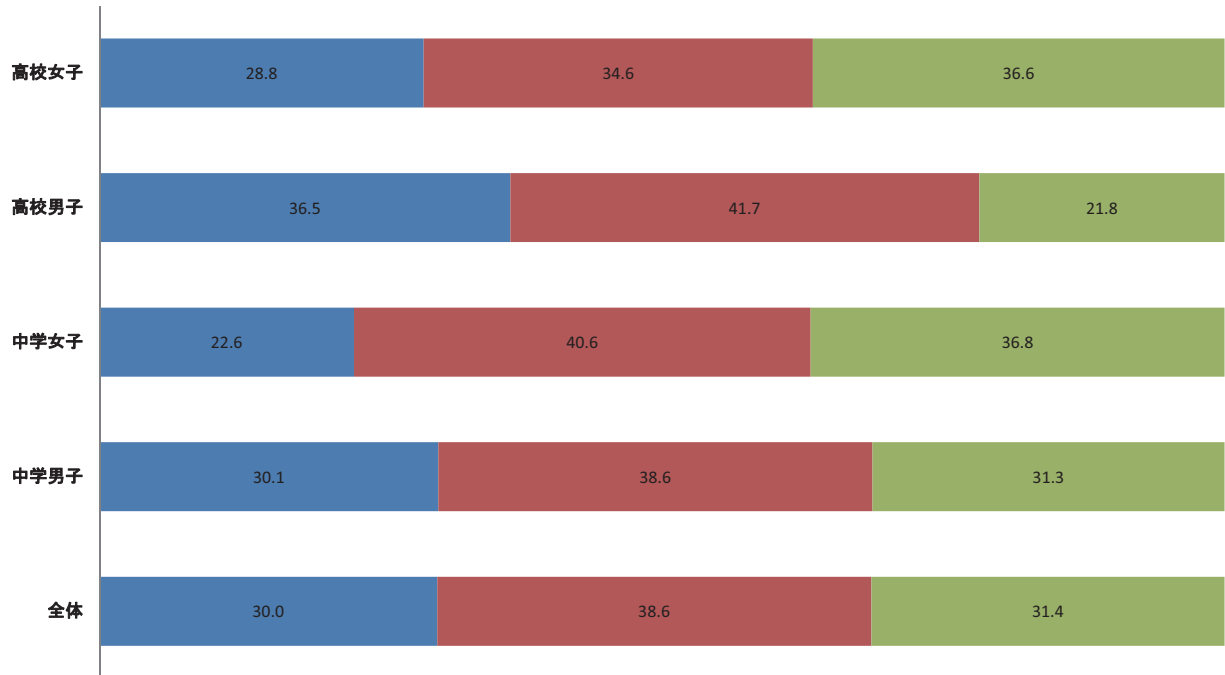
テレビ視聴量の変化に関する認識(全体及び学年別)

■減った ■変わらない ■増えた



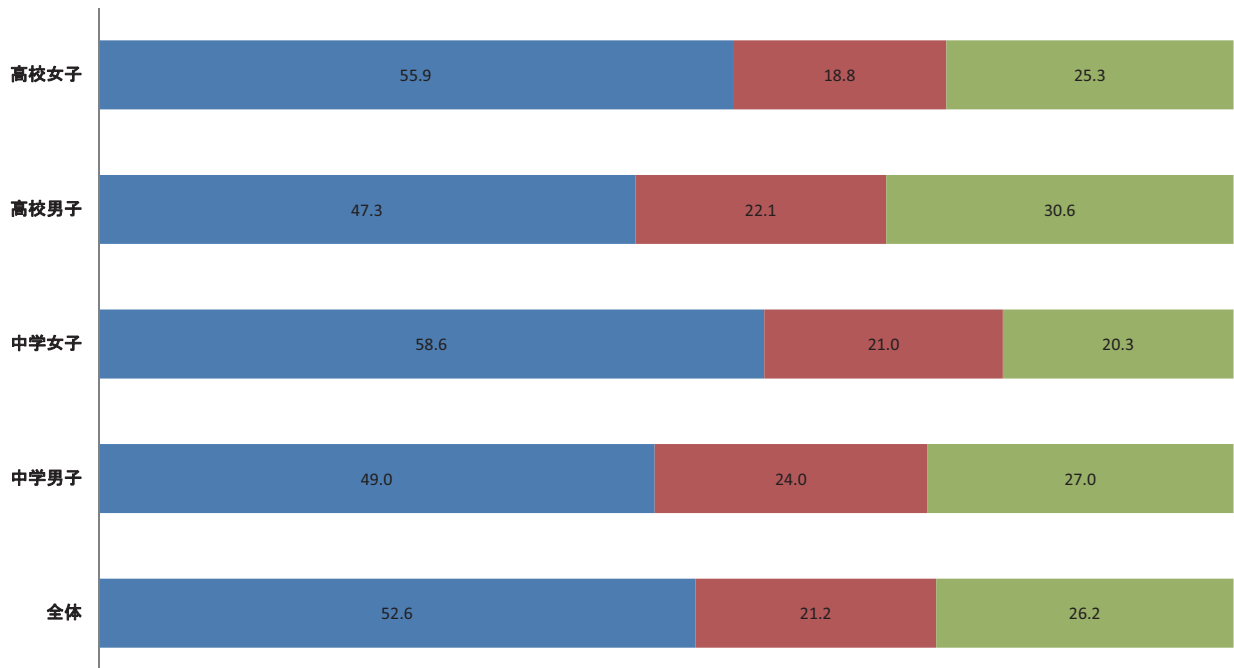
個人—集団視聴様式(全体及び中高男女別)

■ひとりのことが多い ■どちらともいえない ■誰かと一緒にことが多い



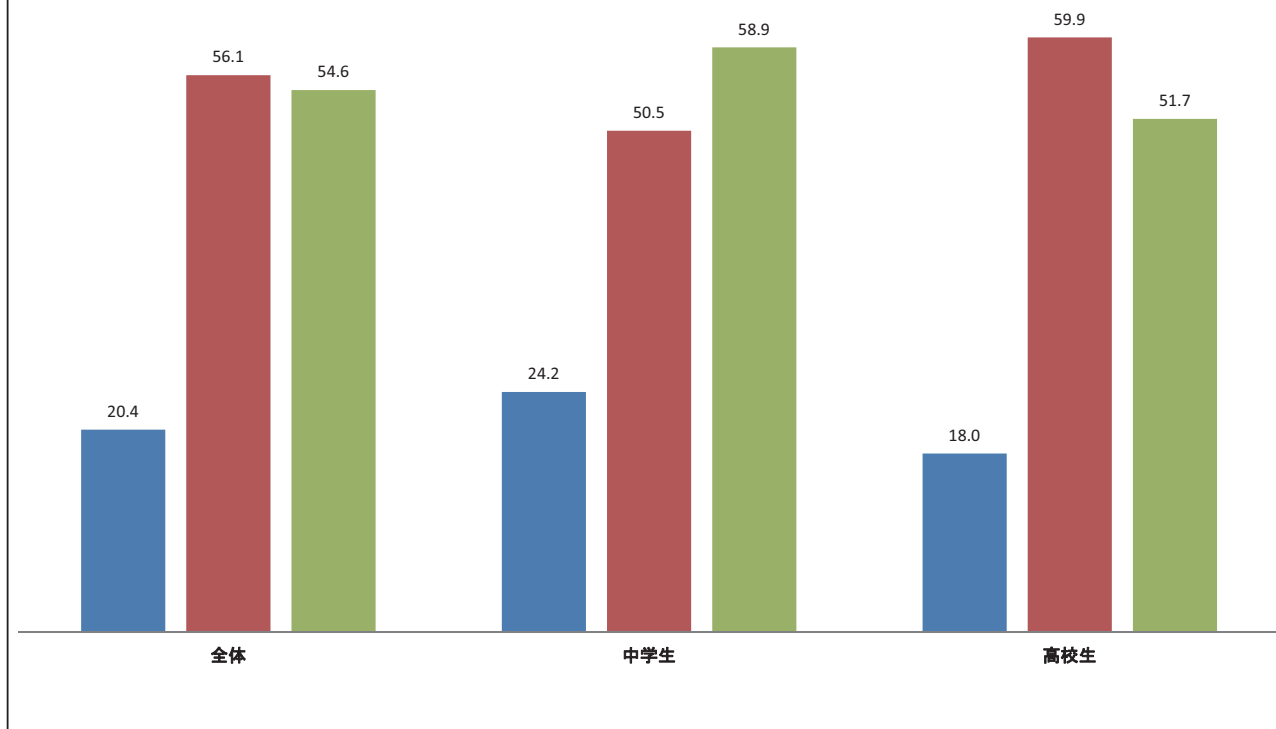
録画—リアルタイム視聴(全体及び中高男女別)

■録画が多い ■どちらともいえない ■リアルタイムが多い



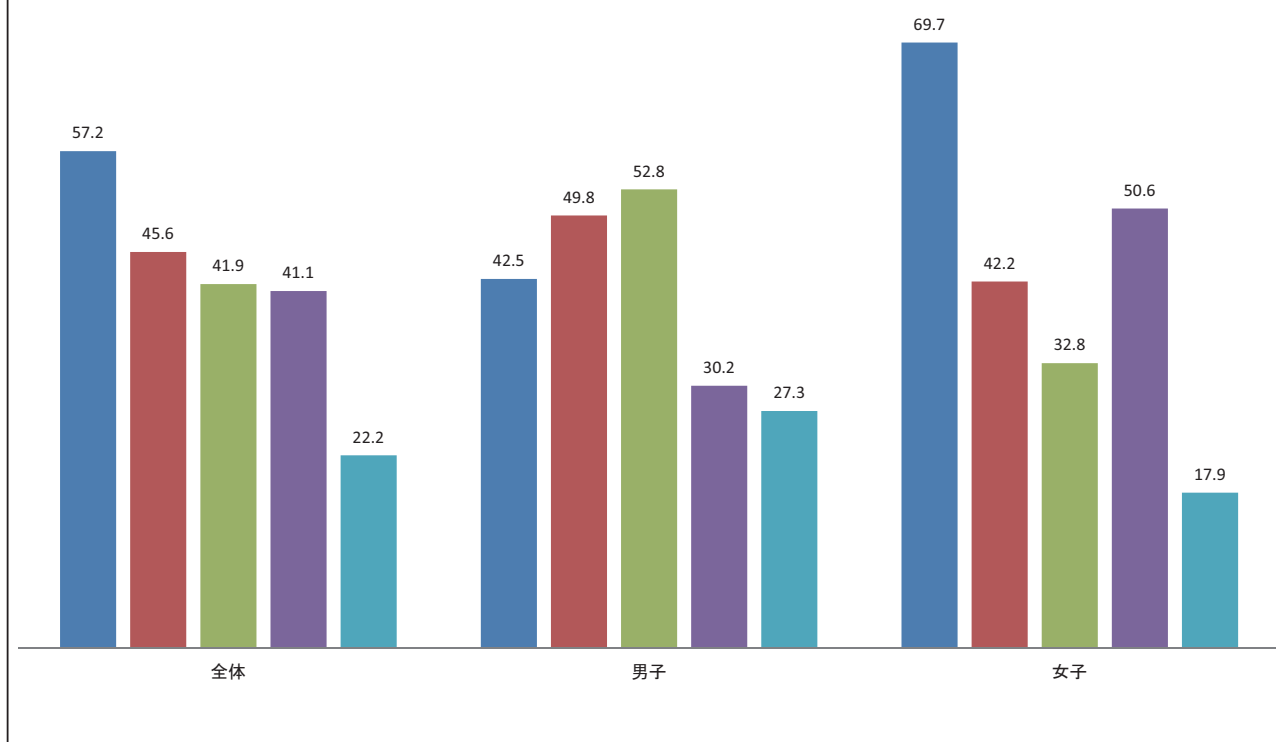
録画する番組の時間帯(全体及び中高別)

■ 学校がある昼間の時間帯 ■ 深夜の時間帯 ■ それ以外の時間帯

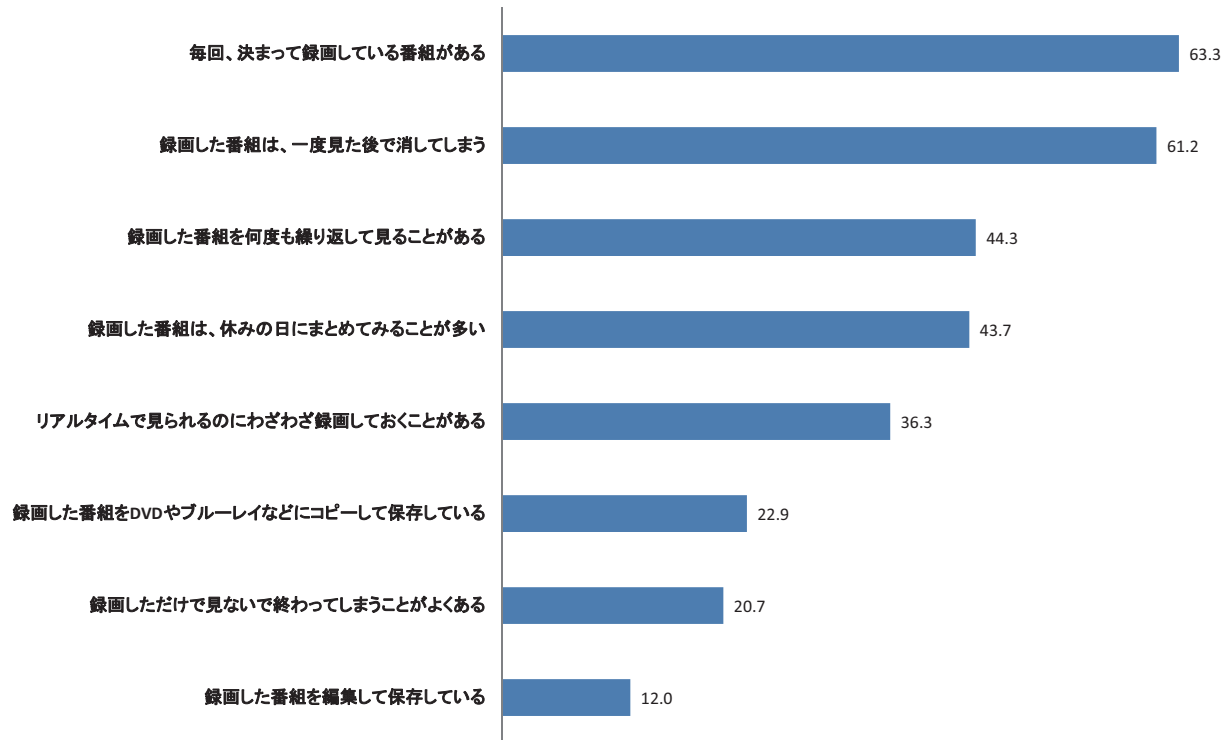


録画することが多い番組のジャンル(全体及び男女別)

■ ドラマ ■ 映画 ■ アニメ ■ 好きなタレントや選手の出演番組 ■ それ以外

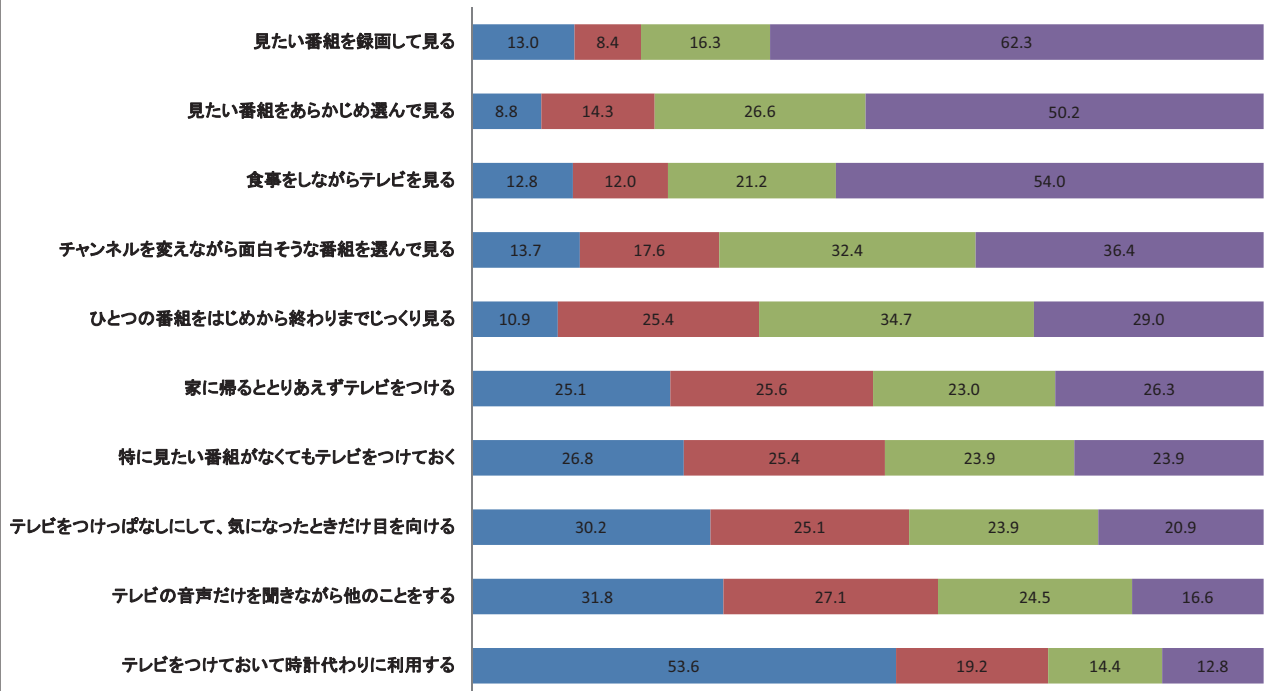


録画した番組の見方、保存の仕方



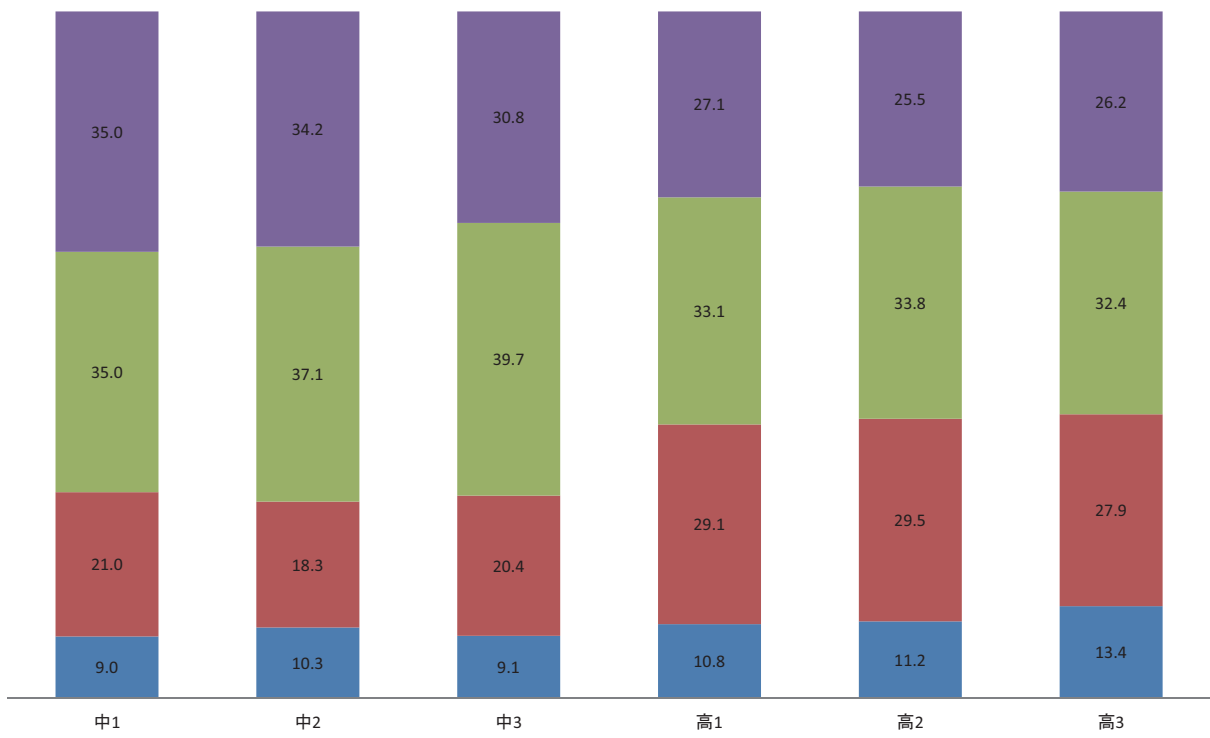
ふだんの生活の中でのテレビの見方

■ まったくない ■ あまりない ■ ときどきある ■ よくある



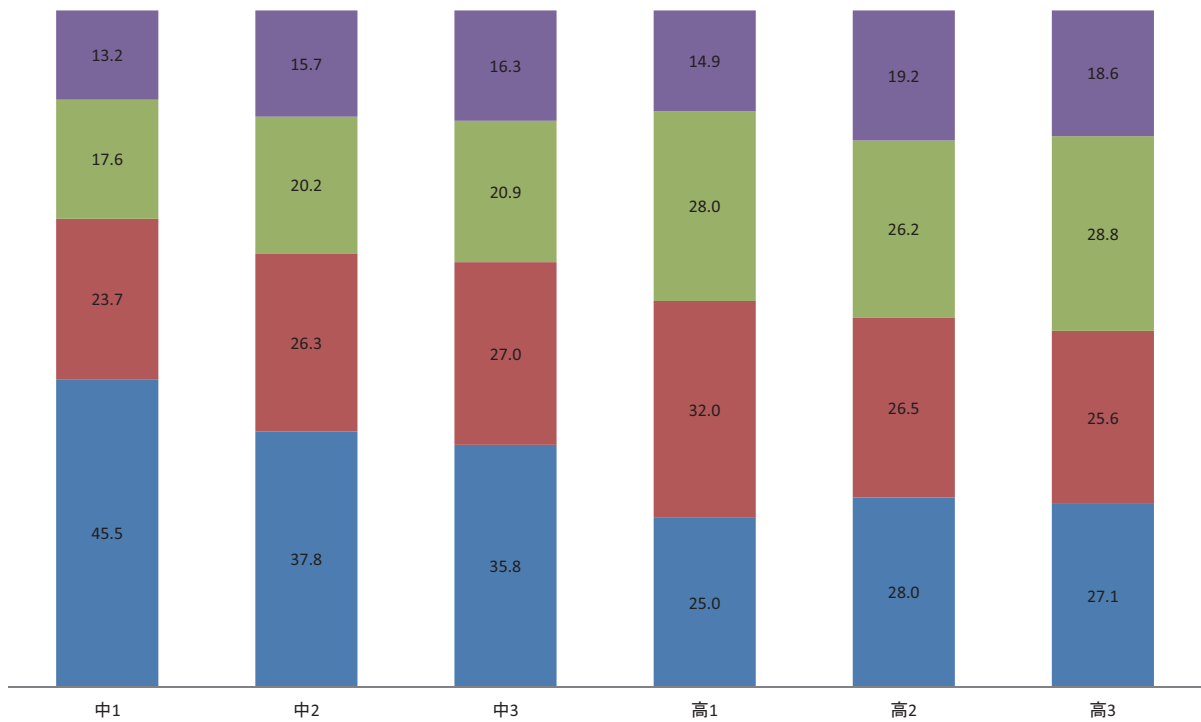
ひとつの番組をじっくり見る

■まったくない ■あまりない ■ときどきある ■よくある

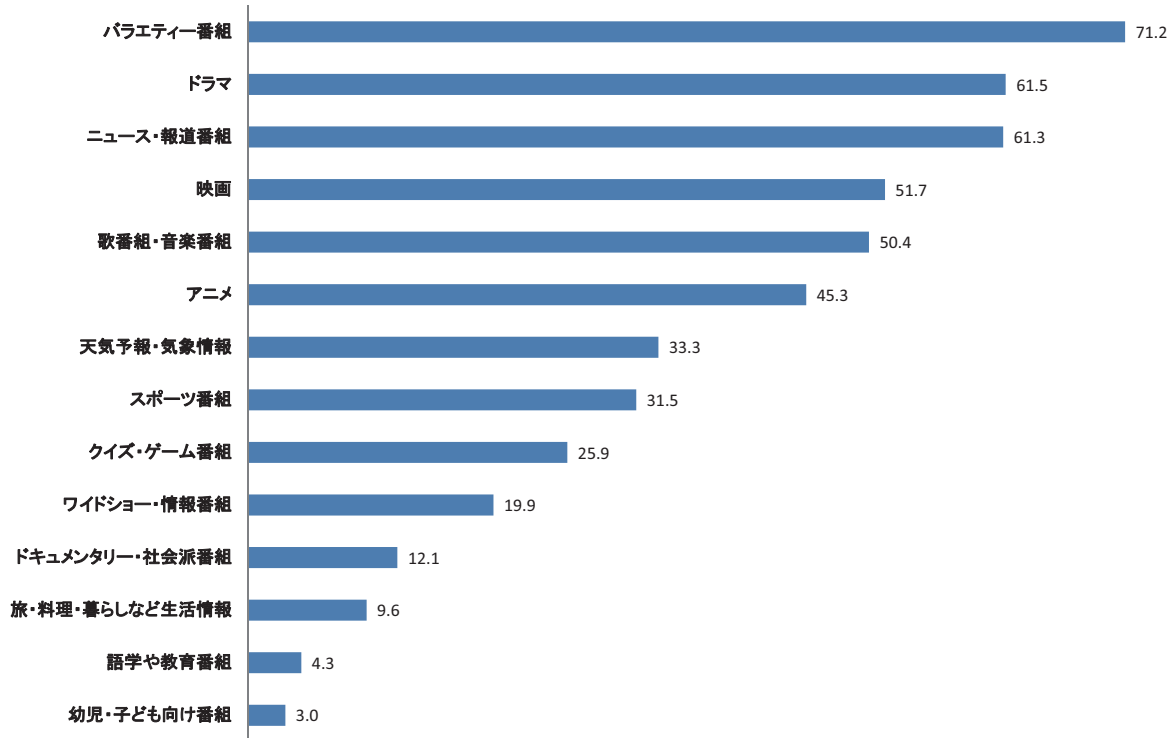


音声だけ聞いて他のことをする

■まったくない ■あまりない ■ときどきある ■よくある

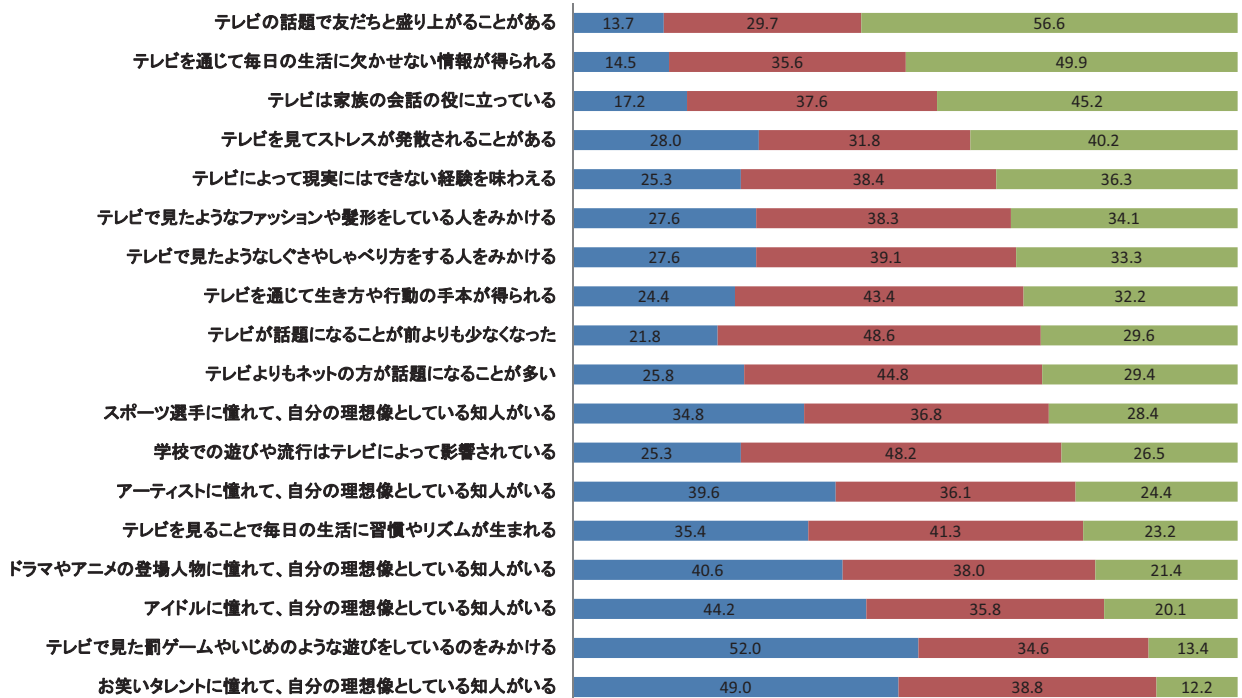


ふだん見ている番組ジャンル



テレビの効用や影響の認識

■ そう思わない ■ どちらとも言えない ■ そう思う



テレビの効用や影響の認識 4つの因子

1) テレビ住民への憧れ(5項目)

アーティスト、アイドル、お笑いタレント、スポーツ選手、ドラマやアニメの登場人物などを自分の理想像として憧れている知人がいる

2) テレビの効用(6項目)

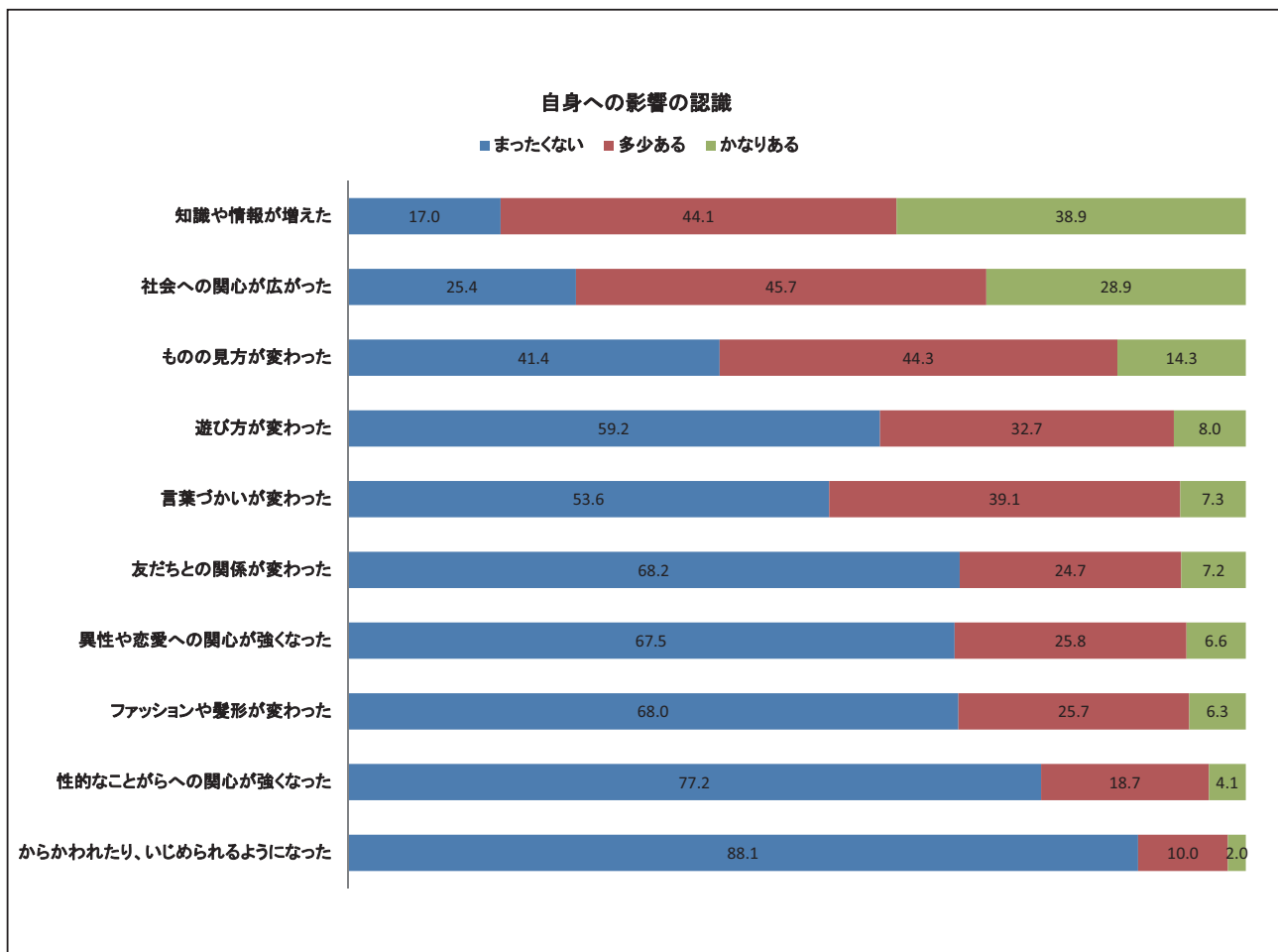
「生き方や行動の手本が得られる」「ストレスが発散される」「現実にはできない経験を味わえる」「家族の会話に役立つ」「毎日の生活に欠かせない情報が得られる」などテレビの効用を評価する意見

3) 表面的な影響(3項目)

しぐさやししゃべり方、ファッションや髪形、遊びや流行への影響の認識

4) 影響力の低下(2項目)

「テレビが話題になることが前よりも少なくなった」「テレビよりもネットの方が話題になることが多い」



自身への影響の認識 2つの因子

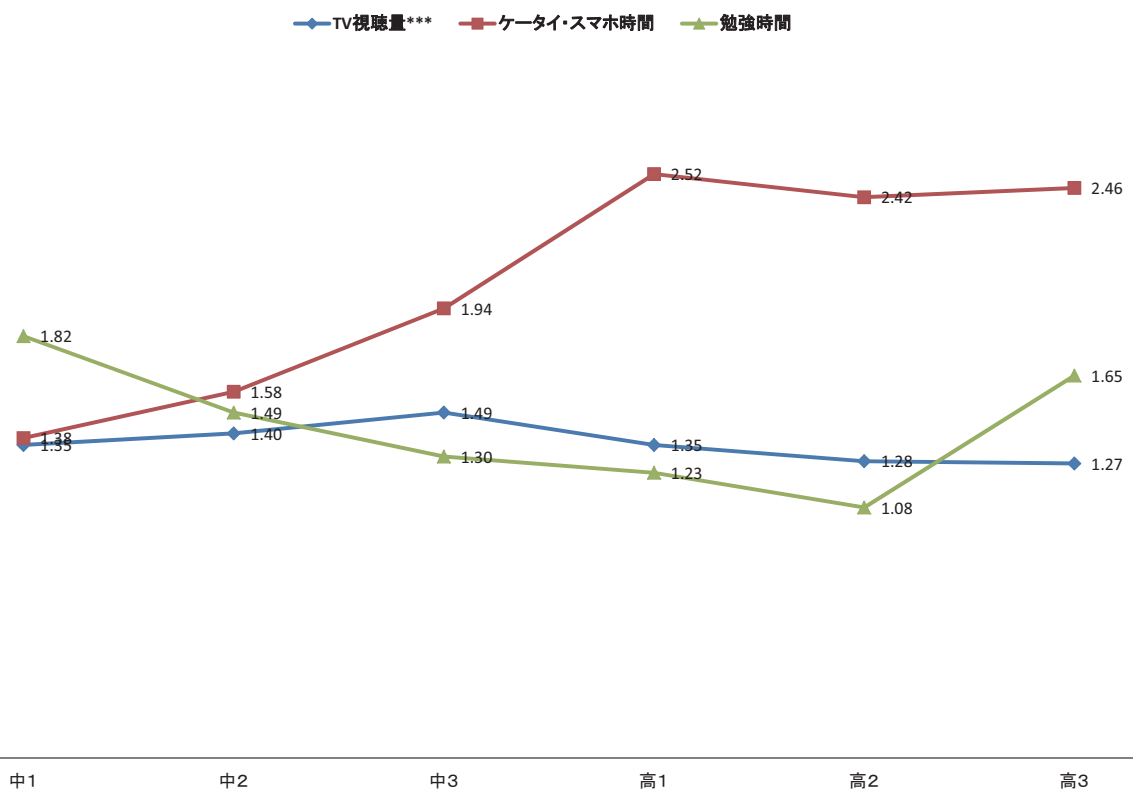
1) 全体的影響(7項目)

「性的なことからへの関心が強くなった」「異性や恋愛への関心が強くなった」「遊び方が変わった」「友達との関係が変わった」「ファッションや髪形が変わった」「言葉づかいが変わった」「からかわれたり、いじめられるようになった」

2) 視野の拡大(2項目)

「知識や情報が増えた」「社会への関心が広がった」

1日当たりのテレビ視聴時間、ケータイ・スマホ使用時間、勉強時間(学年別)



テレビ視聴時間、ケータイ・スマホ使用時間、勉強時間と 各メディアの利用頻度の相関

	テレビ視聴時間	ケータイ・スマホ 使用時間	勉強時間
テレビ視聴時間	***	(.328)	(-.212)
ケータイ・スマホ使用時間	.311	***	(-.347)
勉強時間	-.204	-.351	***
新聞	-.159	-.253	.264
マンガやコミック誌	.084	.084	-.073
それ以外の雑誌	.085	.106	-.058
小説・ラノベなどの本	-.090	-.154	.160
ラジオ	-.027	-.051	.046
ゲーム	.097	.125	-.076
パソコン	.015	.052	-.028

カッコ内の数値は、学年を統制した偏相関係数

メディア利用のパターン分類

クラスター	1	2	3	4	5	6
	メディア消 極利用群	旧メディア 偏重群	中間消極群	テレビ偏重 群	中間積極群	メディア積 極利用群
N	436	436	630	535	436	387
テレビ視聴量	1.10	6.13	9.21	14.80	10.57	14.19
ケータイ・スマホ時 間	2.09	0.79	1.15	3.82	1.14	4.18
新聞	1.87	3.78	1.67	1.51	1.88	1.75
マンガ・コミック誌	2.36	2.98	1.92	2.41	3.03	3.59
それ以外の雑誌	1.85	2.36	1.79	2.16	1.81	2.53
本	2.19	3.44	1.95	1.76	2.42	2.48
ラジオ	1.57	2.45	1.36	1.61	1.50	1.77
ゲーム	2.33	2.31	1.54	1.58	4.39	4.57
パソコン	2.16	2.38	2.05	2.18	2.24	2.58

視聴番組ジャンル

クラスター	1	2	3	4	5	6
	メディア消極利用群	旧メディア偏重群	中間消極群	テレビ偏重群	中間積極群	メディア積極利用群
ニュース・報道	57.0%	73.1%	58.9%	50.4%	67.2%	64.8%
ドラマ	42.7%	53.8%	71.0%	80.0%	50.2%	63.0%
映画	43.0%	45.5%	45.9%	60.9%	51.4%	65.3%
クイズ・ゲーム	12.6%	23.0%	21.0%	24.0%	36.9%	40.2%
バラエティー	48.3%	61.6%	74.4%	83.9%	76.8%	79.5%
歌・音楽	38.1%	43.2%	52.4%	72.3%	38.1%	55.4%
アニメ	33.7%	50.1%	31.2%	31.6%	67.2%	68.1%
スポーツ	20.6%	32.9%	30.1%	27.5%	37.4%	40.2%
気象情報	24.5%	41.6%	32.0%	29.2%	36.7%	36.5%
ドキュメンタリー	8.5%	17.2%	11.0%	9.7%	12.2%	14.8%

クラスター	1	2	3	4	5	6
	メディア消極利用群	旧メディア偏重群	中間消極群	テレビ偏重群	中間積極群	メディア積極利用群
勉強時間	1.52	2.05	1.59	0.82	1.47	0.99
男子	50.3%	52.5%	36.3%	25.0%	75.6%	64.5%
女子	49.7%	47.5%	63.7%	75.0%	24.4%	35.5%
中学生	26.1%	57.1%	35.6%	18.7%	56.2%	42.6%
高校生	73.9%	42.9%	64.4%	81.3%	43.8%	57.4%
テレビ住民への憧れ	8.62	8.62	8.86	9.79	8.41	9.46
テレビの効用	10.75	12.84	13.18	13.54	12.99	13.49
表面的な影響	5.63	5.92	6.19	6.65	5.90	6.45
影響力の低下	4.30	4.04	3.87	4.17	4.03	4.42
全体的影響の認識	8.72	9.21	9.46	10.16	9.36	10.51
視野の拡大	3.85	4.61	4.23	4.16	4.36	4.40

NHK「テレビ60年調査」
デジタル時代の2つの視聴スタイル

カスタマイズ視聴

タイムシフト視
聴

テレビ番組動
画視聴

つながり視聴

テレビSNS

家族視聴

- タイムシフト(録画)視聴の一般化は確認されたが、家族視聴が拡大しているかどうかは不明
- 動画サイトでの番組視聴、テレビを話題としたSNSでのやりとりについての質問は設けていないが、そうした視聴スタイルが中高生の間から広がっていくような兆しはみられない
- テレビ視聴時間とケータイ・スマホの利用時間の間には正の相関があり、テレビの視聴スタイルが今後さらに多様化していく可能性がある